

2022年度 学修状況・達成度調査 報告書

2023 年 7 月 21 日作成

概要

はじめに：本調査は2017（H29）年度から実施しており2022（R4）年度も継続し、6年目となる。

目的：学生生活での人間形成や学修状況を学生が自己評価し、その内容から大学の教務・学修状況の向上を検討する。

方法：Office365のFormsによるWEBでの調査。

調査期間は2023年3月2日～5月24日（2022年度の4年生は国試受験後、3年生は3月末、1，2年生は4月以降に実施）

対象：2022年度在学中で、休学を除いた237人。

結果：

1. 回収率； **62.9%**（149人/237人）（昨年度66.4%）、PT73 % (70%)、OT60 % (64 %) 、 RP38 % (58%)、1年87 % (72%)、2年78 % (72%)、3年60 % (77%)、4年28 % (45%)。

⇒ 今後は回収率向上には調査時期を年度内、対面による説明・依頼への変更が望ましい。

単純集計；年度別変化・学年別の変化、クロス集計

2. 共通科目4単位以上の取得は、全学年において「人文科学」「自然科学」は増加傾向、「社会科学」は変化なし、「外国語」は低下（2021年度比-6%、以下同様）であった。（pp8-11）

「教養分野」の4単位以上取得は、1年生で「外国語」84%、「自然科学」93%を取得していた。「人文科学」は学年と共に取得率向上していた。（p24）

概要 2

3. 「専門基礎分野」36単位以上取得は、全学年において低下した(-11%)。2年生(+6%)、3年生(+9%)は増加したので4年生の低下(-18%)が全学年の低下に影響した。(p12,p25)

「専門分野」68単位以上取得は、全学年において低下した(-4%)。2年生(+3%)、3年生(+6%)は増加したので、4年生の低下(-21%)が全学年の低下に影響した。(p13,p25)

「専門基礎分野」「専門分野」の単位取得は、学年の進行に応じていた。(p25)

4. 各項目の最頻項目(回答率最高値)、最良項目(望ましい回答)の選択率は次のようであった。

- 「他者への関わり」……最頻項目 ②少数の友人がいる 42% (2021年度比、-10%)
最良項目 ③学内に多数の友人がいる 26% (2021年度比、-20%)
- 「多様な社会への関心」……最頻 ②ときどきニュースを見る 70% (+10%)
最良 ⑤自ら進んで社会問題の問題を考え解決しようと行動 1% (±0%)
- 「思考・判断」……最頻 ③少しのアドバイスがあれば課題についての理解と判断できる
45% (-7%)
最良 ⑤全ての事柄において自分で考え、判断して行動 2% (-3%)
- 「態度」……最頻 ③自身の良心と社会的ルールで行動可 42% (+2%)
最良 ⑤他者の立場に立って社会的ルールを超えた倫理観に基づいて行動 12% (-3%)

概要3

- 「情報リテラシー」 ……最頻 ⑤pptで発表資料作成可能 + 文献検索のDL可能 44%(-17%)
最良 同上
- 「レポート作成能力」 …………… (加えて)
最頻 ③グラフや図の工夫を自分で行う + 自分の考えを文章として表現 40% (-6%)
最良 ⑤ ③+④+専門誌の文献を調べ結果を考察できる 12% (±0%)
- 「勉強時間」 …………… 最頻 ③1日平均1時間以上2時間未満 39% (-4%)
最良 ⑤1日平均4時間以上 5% (-5%)
- 「自己表現」 ……………最頻 ③自分から進んでの発言は多くない 34% (-6%)
最良 ⑤積極的に発言して十分に表現できる 19% (-3%)
- 「スマホ使用時間」 (学習除く) ……最頻 ⑤1日平均4時間以上43% (新規のため2021年度比無し)
学年とのクロス集計においては、特別な傾向は見いだせなかった。

5. 学内で友人が「いない／少ない」と「多い」で2分してクロス集計すると、「多い」と学内の友人関係、将来のキャリアで明らかにの「悩み」が「ある／少しある」の傾向になる。

(p31)

概要4

6. オンライン授業は「満足／ある程度満足」61%であった（+11%）。
7. オンライン授業で「良い」点は、「自由な場所で受講」「自分のペースで学習」「レポート等の課題に取り組みやすい」であった。オンデマンド授業、双方向授業とも似た傾向を示し、オンデマンド授業は自分のペース等で受講、双方向授業はゼミ等で受講しやすい点が優位であった。2021年度とほぼ同様の傾向であった。
8. 学生生活での悩みは、「有」が「将来のキャリア」35%（±0%）、「授業成績等」24%（-2%）、「学費等の経済的問題」16%（±0%）であった。2021年度とほぼ同様であった。

悩みの相談先（良く／時々）は「学内の同級生等」77%（+1%）、保護者など68%（-8%）、学外の友人66%（+8%）であった。

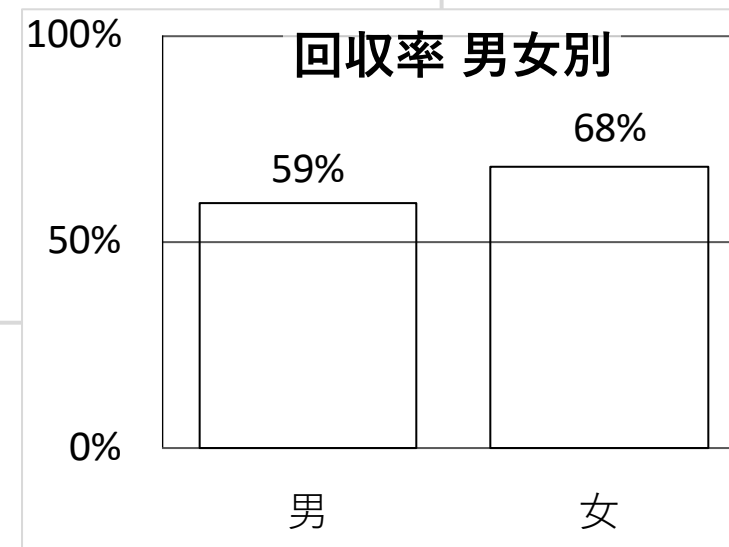
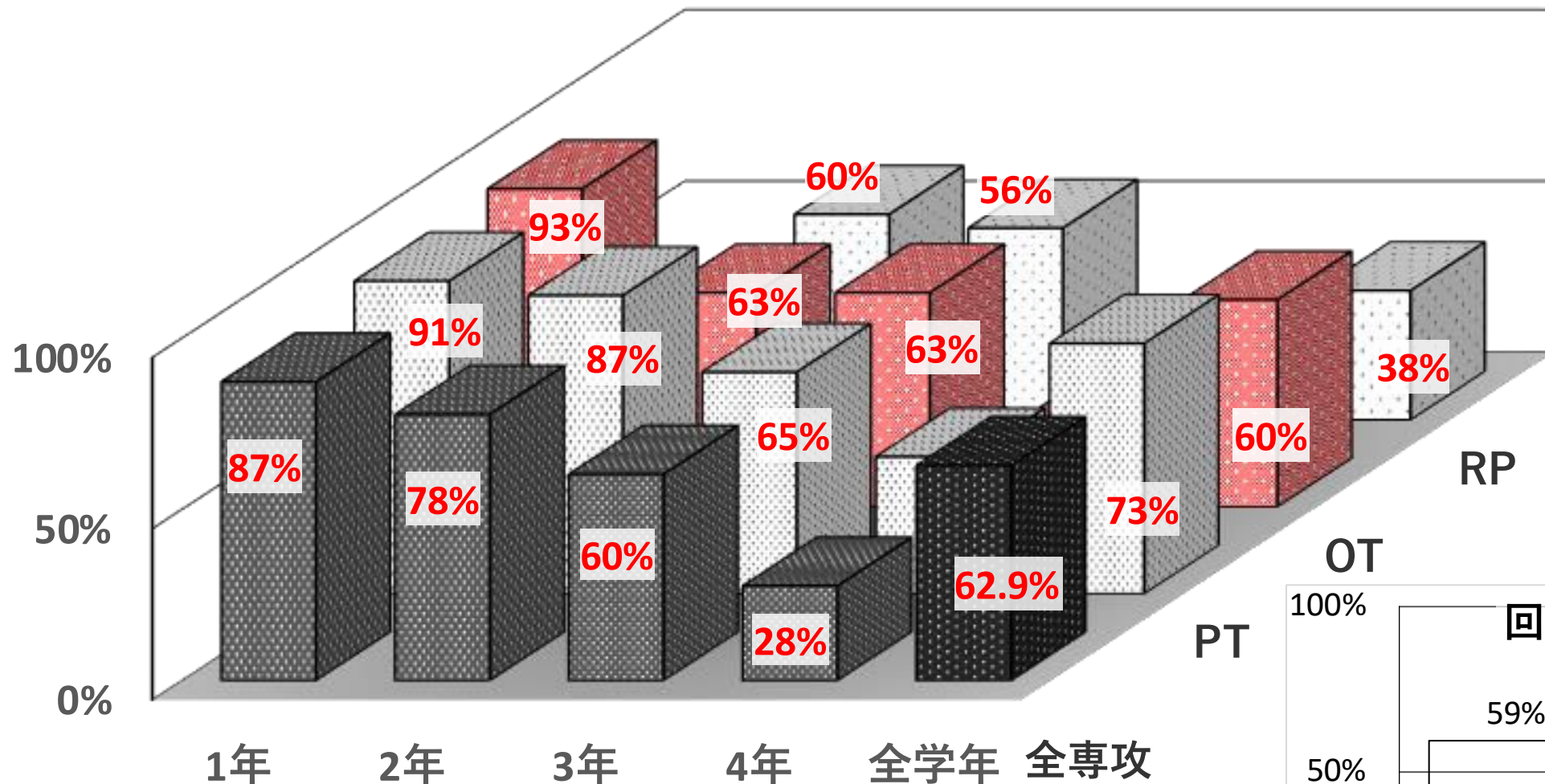
学生からの質問・自由記載項目及び回答（略）

- ・ 学生からの質問などは、原文のまま掲載した。
- ・ 各担当部署からは、質問等に対する回答を掲載した。

目次

概要	1	単位取得状況 「専門基礎分野」「専門分野」	25
回収率	6	「他者への関わり」「多様な社会への関心」	26
I .単純集計、2018～2022年度別・学年別の変化		「思考・判断」「態度」	27
人文科学分野	8	「情報リテラシー」「レポート作成能力」	28
自然科学分野	9	「勉強時間」「自己表現」	29
社会科学分野	10	スマホの使用時間、学年別使用時間	30
外国語分野	11	「他者への関わり」で友人の「いない/少ない」と	31
専門基礎分野	12	「多い」に2分類した場合の他の項目比較	31
専門分野	13	オンライン授業全体の満足度	32
他者への関わり	14	オンデマンド型授業、双方向型授業における	33
多様な社会への関心	15	「良い」「どちらでもない」「悪い」の満足度	33
思考・判断	16	学生生活に悩みがあるか。悩みや不安の相談	34
態度	17	先はどちらか。	34
情報リテラシー	18		
レポート作成能力	19	転専攻・休学・退学について考えたことは。	35
学習時間	20	学年別	35
自己表現	21	転専攻・休学・退学について考えた最大の理由	36
スマホの使用時間	22	は。	36
II .2022年度の単純集計、クロス集計図表		III .学生からの質問・意見および各部署からの回答について	
単位取得状況 「教養分野」	24		

回収率 62.9%



- 回収率：62.9% (149/237人)、2021年度66.4%
- ・ 4年生が極端に少なく、データの偏りの可能性あり。
国試終了後は回収率下がる。
- ・ 3年生は、4月から実習開始すると回収率下がる。

単純集計

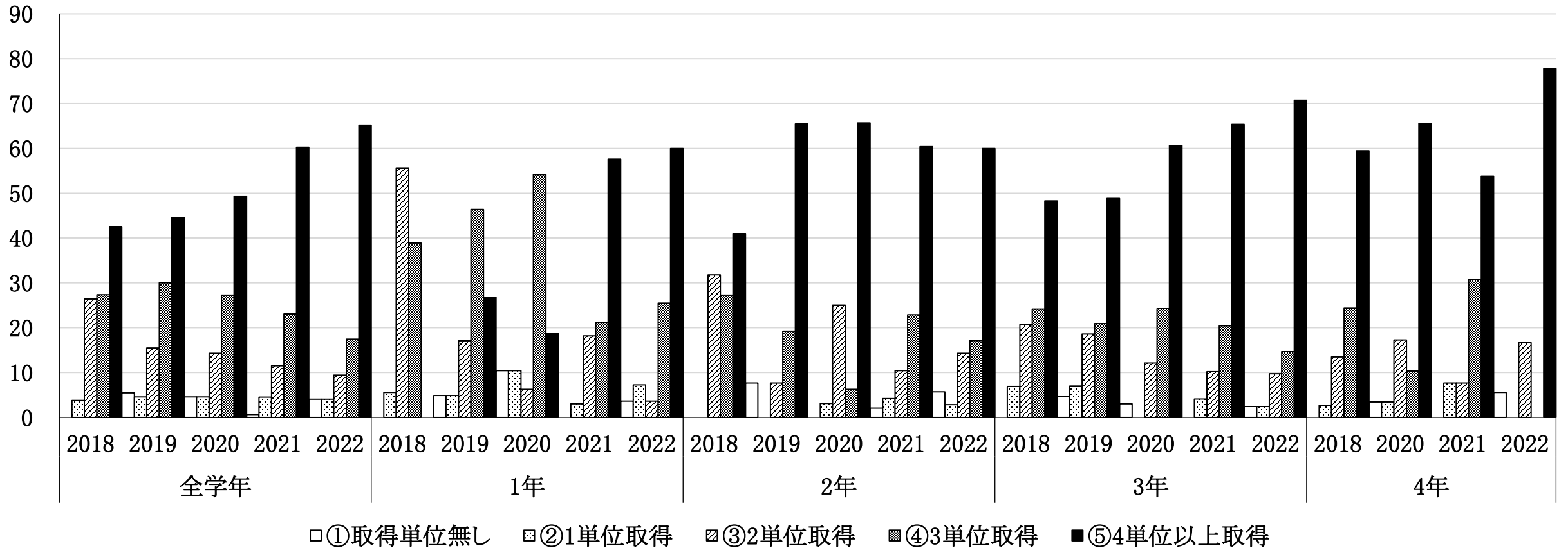
2018～2022年度別変化・学年別の変化

注1: 本学の教育課程(カリキュラム)は、2019年度(4年生)入学生と2020年度以降(3、2、1年生)の入学生で異なっている。

今まで取得した人文科学分野の単位取得状況について (%)

	全学年					1年					2年					3年					4年			
	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2020	2021	2022
①取得単位無し	0	5	5	1	4	0	5	10	0	4	0	8	0	2	6	0	5	3	0	2	0	3	0	6
②1単位取得	4	5	5	4	4	6	5	10	3	7	0	0	3	4	3	7	7	0	4	2	3	3	8	0
③2単位取得	26	15	14	12	9	56	17	6	18	4	32	8	25	10	14	21	19	12	10	10	14	17	8	17
④3単位取得	27	30	27	23	17	39	46	54	21	25	27	19	6	23	17	24	21	24	20	15	24	10	31	0
⑤4単位以上取得	42	45	49	60	65	0	27	19	58	60	41	65	66	60	60	48	49	61	65	71	59	66	54	78
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

人文科学分野

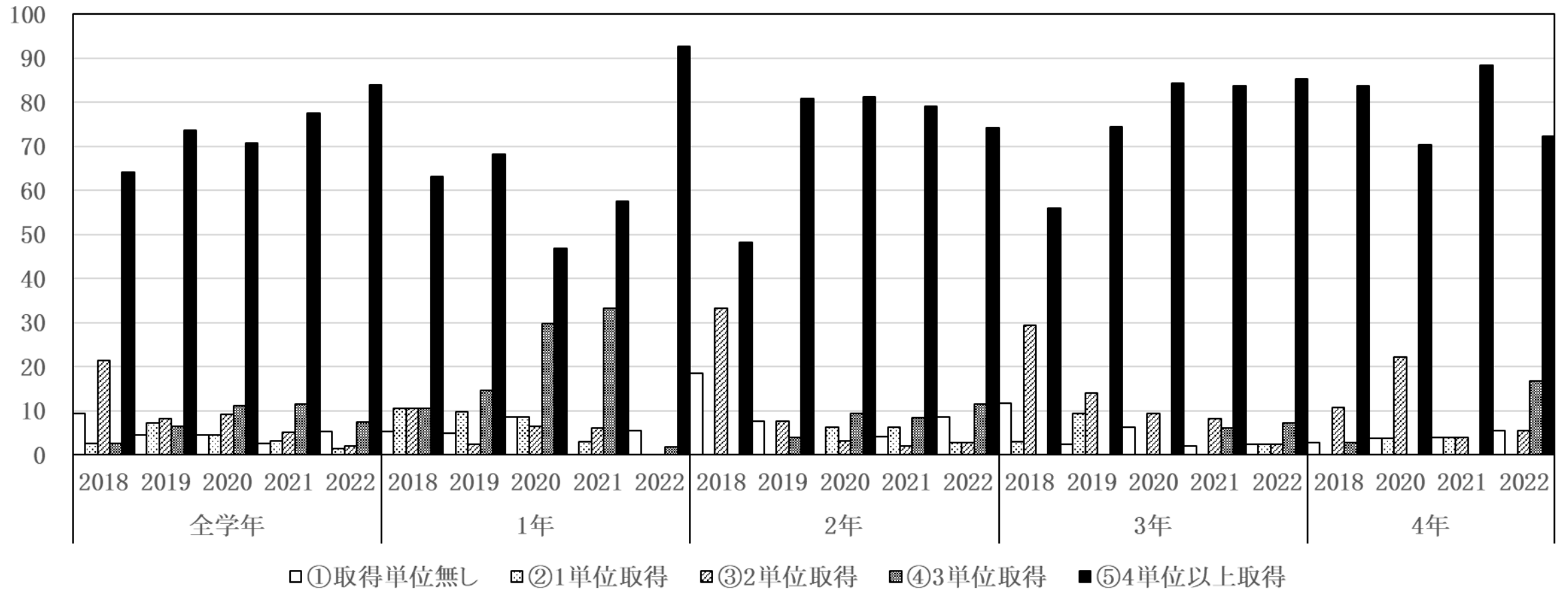


4単位以上取得は、全学年において年度毎に増加、2022年度65%取得していた。この傾向は1、3、4年生で同様であった。

今まで取得した**自然科学分野**の単位取得状況について (%)

	全学年					1年					2年					3年					4年			
	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2020	2021	2022
①取得単位無し	9	5	5	3	5	5	5	9	0	5	19	8	0	4	9	12	2	6	2	2	3	4	4	6
②1単位取得	3	7	5	3	1	11	10	9	3	0	0	0	6	6	3	3	9	0	0	2	0	4	4	0
③2単位取得	21	8	9	5	2	11	2	6	6	0	33	8	3	2	3	29	14	9	8	2	11	22	4	6
④3単位取得	3	6	11	12	7	11	15	30	33	2	0	4	9	8	11	0	0	0	6	7	3	0	0	17
⑤4単位以上取得	64	74	71	78	84	63	68	47	58	93	48	81	81	79	74	56	74	84	84	85	84	70	88	72
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

自然科学分野

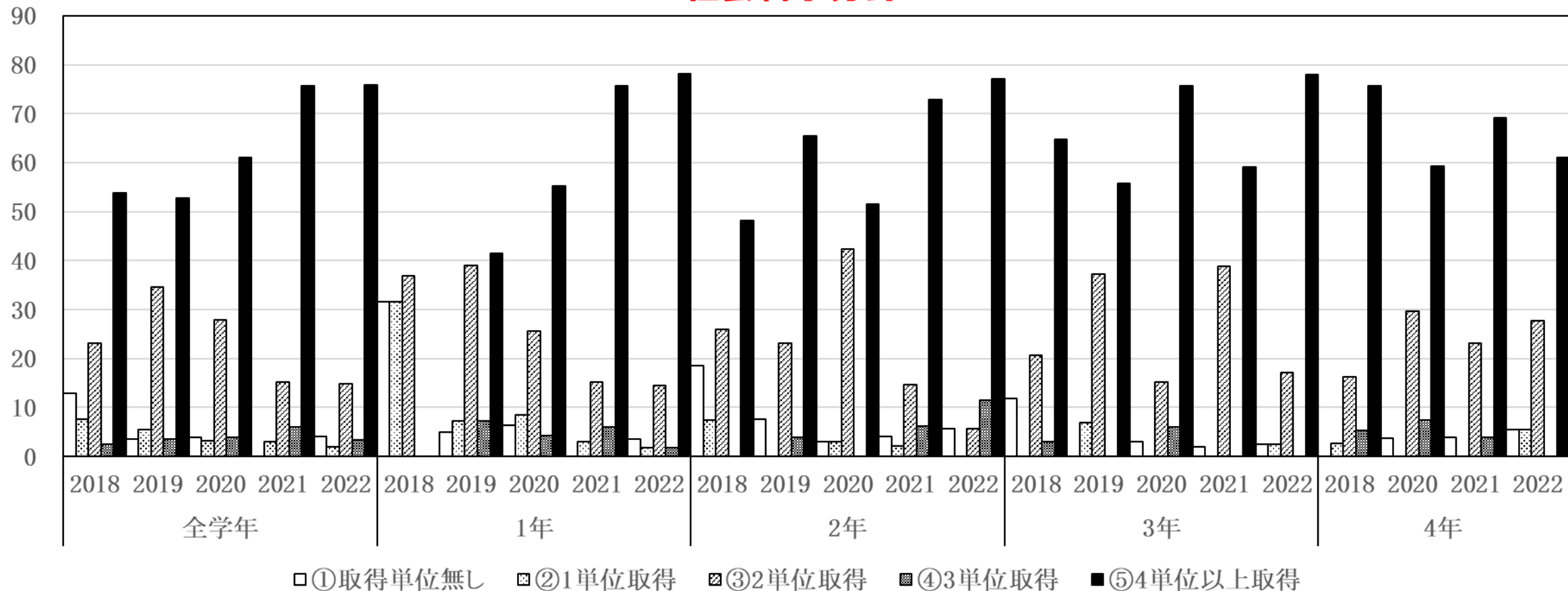


4単位以上取得は、全学年において増加傾向であった。2022年度84%であった。特に1年生が著しく増加した (58%→93%)。9

今まで取得した**社会科学分野**の単位取得状況について (%)

	全学年					1年					2年					3年					4年			
	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2020	2021	2022
①取得単位無し	13	4	4	0	4	32	5	6	0	4	19	8	3	4	6	12	0	3	2	2	0	4	4	6
②1単位取得	8	5	3	3	2	32	7	9	3	2	7	0	3	2	0	0	7	0	0	2	3	0	0	6
③2単位取得	23	35	28	15	15	37	39	26	15	15	26	23	42	15	6	21	37	15	39	17	16	30	23	28
④3単位取得	3	4	4	6	3	0	7	4	6	2	0	4	0	6	11	3	0	6	0	0	5	7	4	0
⑤4単位以上取得	54	53	61	76	76	0	41	55	76	78	48	65	52	73	77	65	56	76	59	78	76	59	69	61
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

社会科学分野

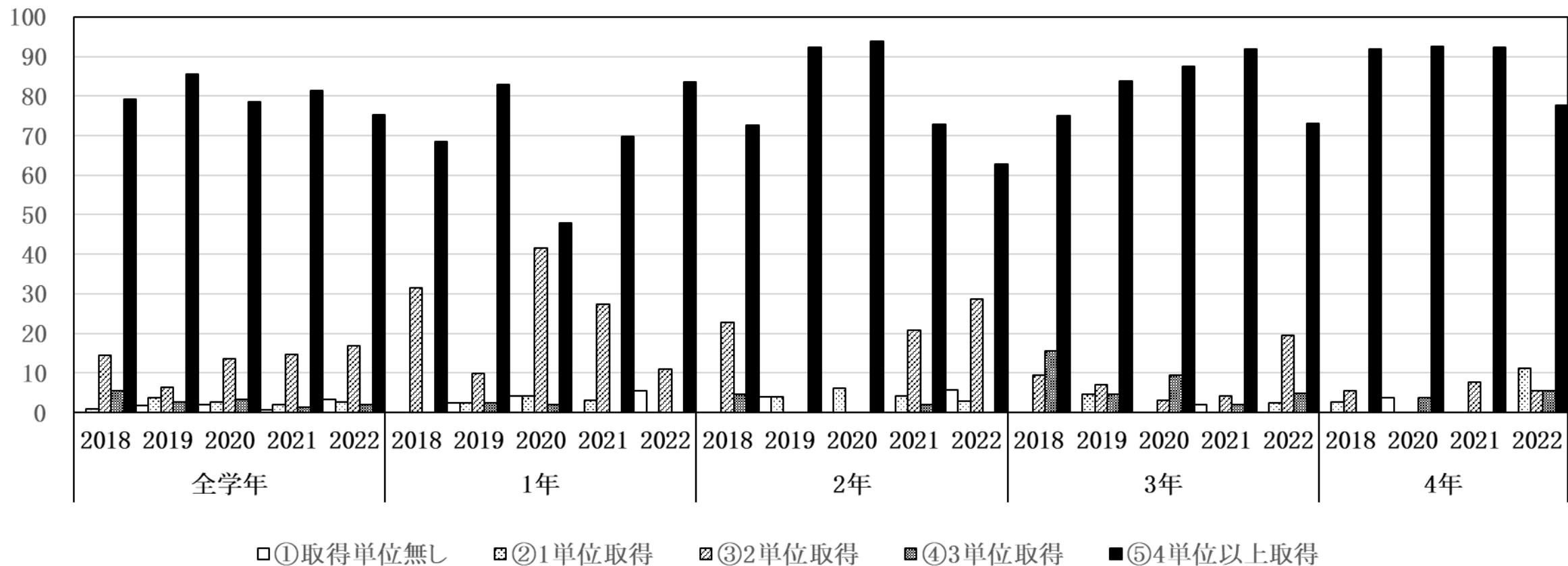


4単位以上取得は、全学年において増加傾向であった。2022年度は2021年度と同様であった。

今まで取得した**外国語分野**の単位取得状況について (%)

	全学年					1年					2年					3年					4年			
	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2020	2021	2022
①取得単位無し	0	2	2	1	3	0	2	4	0	5	0	4	0	0	6	0	0	0	2	0	0	4	0	0
②1単位取得	1	4	3	2	3	0	2	4	3	0	0	4	6	4	3	0	5	0	0	2	3	0	0	11
③2単位取得	15	6	14	15	17	32	10	42	27	11	23	0	0	21	29	9	7	3	4	20	5	0	8	6
④3単位取得	5	3	3	1	2	0	2	2	0	0	5	0	0	2	0	16	5	9	2	5	0	4	0	6
⑤4単位以上取得	79	85	79	81	75	68	83	48	70	84	73	92	94	73	63	75	84	88	92	73	92	93	92	78
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

外国語分野

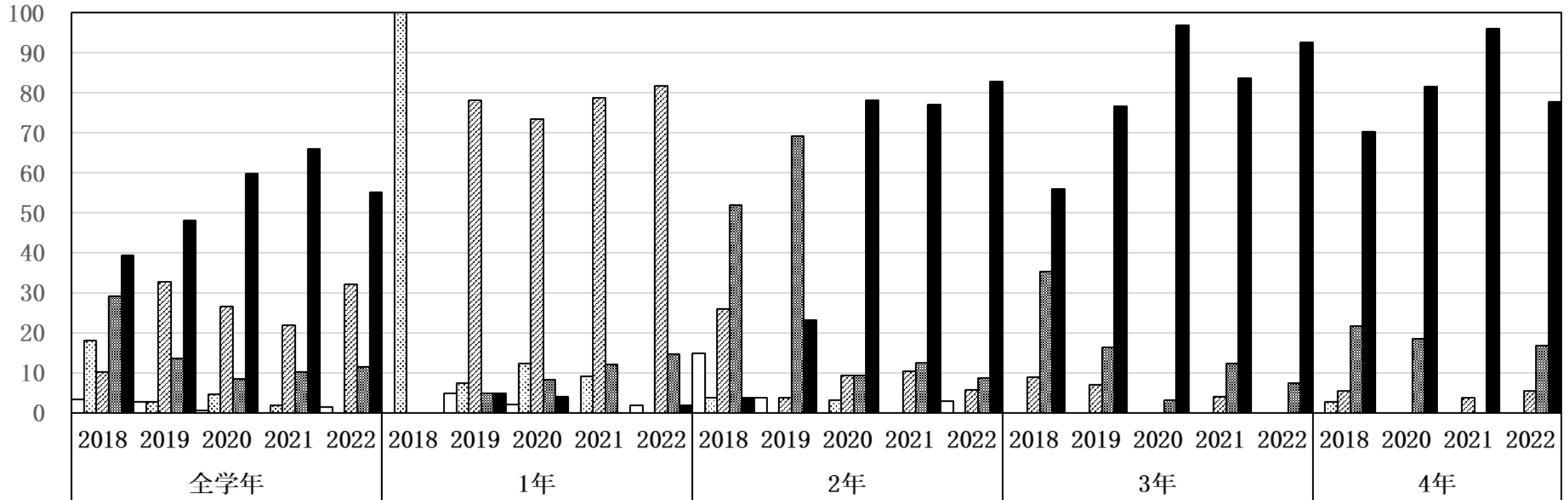


全学年の4単位以上取得は、全学年において微減傾向であった。2022年度に1年生は増加したが、2, 3, 4年生が減少した。11

今まで取得した**専門基礎分野**の単位取得状況について (%)

	全学年					1年					2年					3年					4年				
	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2020	2021	2022	
①取得した科目無い	3	3	1	0	1	0	5	2	0	2	15	4	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②1-11単位取得	18	3	5	2	0	100	7	12	9	0	4	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	
③12-23単位取得	10	33	27	22	32	0	78	73	79	82	26	4	9	10	6	9	7	0	4	0	5	0	4	6	
④24-35単位取得	29	14	8	10	11	0	5	8	12	15	52	69	9	13	9	35	16	3	12	7	22	19	0	17	
⑤36以上単位取得	39	48	60	66	55	0	5	4	0	2	4	23	78	77	83	56	77	97	84	93	70	81	96	78	
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	

専門基礎分野

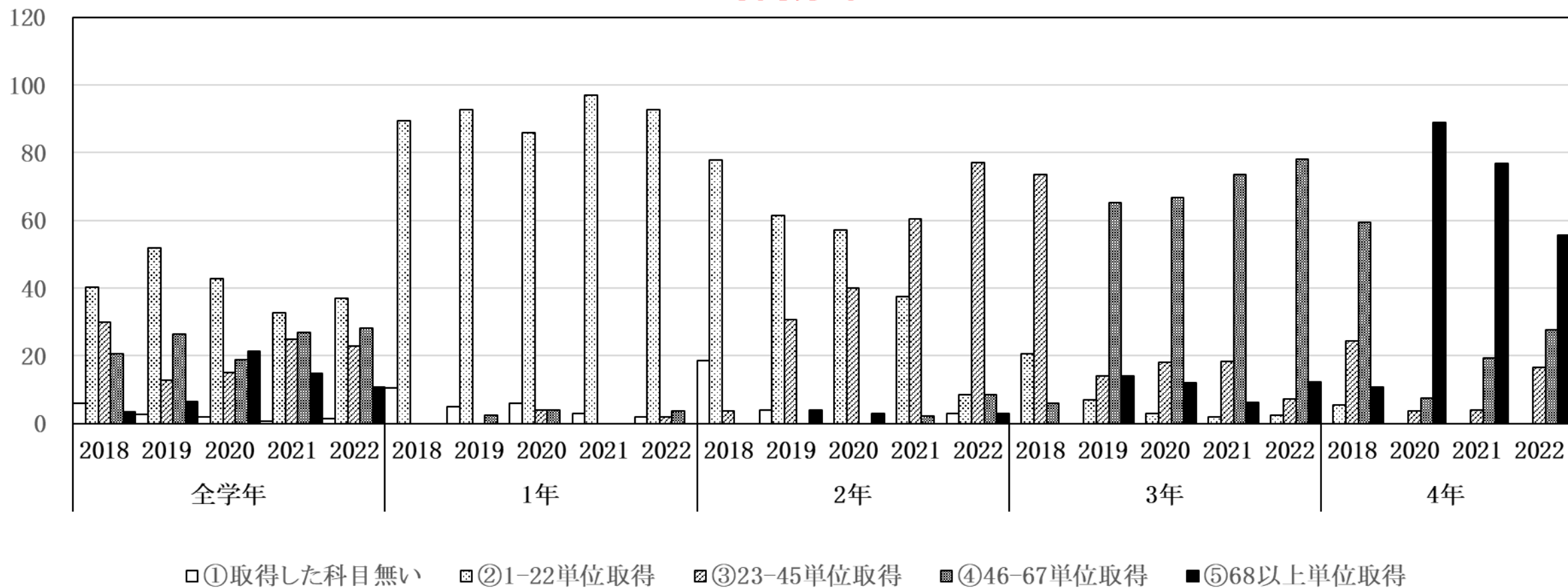


36単位以上取得は、全学年において過去の増加傾向から2022年度に低下した（2021年度比-11%）。

今まで取得した**専門分野**の単位取得状況について (%)

	全学年					1年					2年					3年					4年			
	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2020	2021	2022
①取得した科目無い	6	3	2	1	1	11	5	6	3	2	19	4	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②1-22単位取得	40	52	43	33	37	89	93	86	97	93	78	62	57	38	9	21	7	3	2	2	5	0	0	0
③23-45単位取得	30	13	15	25	23	0	0	4	0	2	4	31	40	60	77	74	14	18	18	7	24	4	4	17
④46-67単位取得	21	26	19	27	28	0	2	4	0	4	0	0	0	2	9	6	65	67	73	78	59	7	19	28
⑤68以上単位取得	3	6	21	15	11	0	0	0	0	0	0	4	3	0	3	0	14	12	6	12	11	89	77	56
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

専門分野

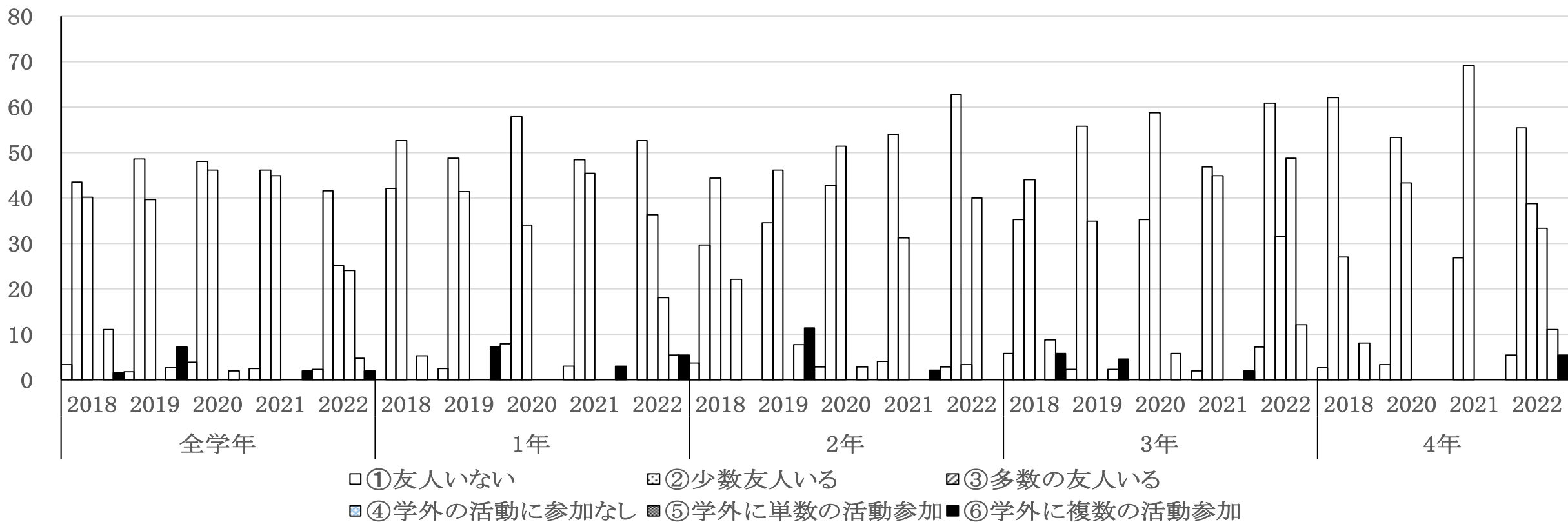


全学年、4年生の68単位以上の取得が2020、2021、2022年度で89%、77%、56%で低下傾向。

他者への関わり；学内と学外で複数の回答 (%)

	全学年					1年					2年					3年					4年			
	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2020	2021	2022
①友人いない	3	2	4	3	2	0	2	8	3	0	4	0	3	4	3	6	2	0	2	7	3	3	0	6
②少数友人いる	44	49	48	46	42	42	49	58	48	53	30	35	43	54	63	35	56	35	47	61	62	53	27	56
③多数の友人いる	40	40	46	45	25	53	41	34	45	36	44	46	51	31	3	44	35	59	45	32	27	43	69	39
④学外の活動に参加なし					24					18					40				49					33
⑤学外に単数の活動参加	11	3	2	0	5	5	0	0	0	5	22	8	3	0	0	9	2	6	0	12	8	0	0	11
⑥学外に複数の活動参加	2	7	0	2	2	0	7	0	3	5	0	12	0	2	0	6	5	0	2	0	0	0	0	6
計	100	100	100	96	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

他者への関わり

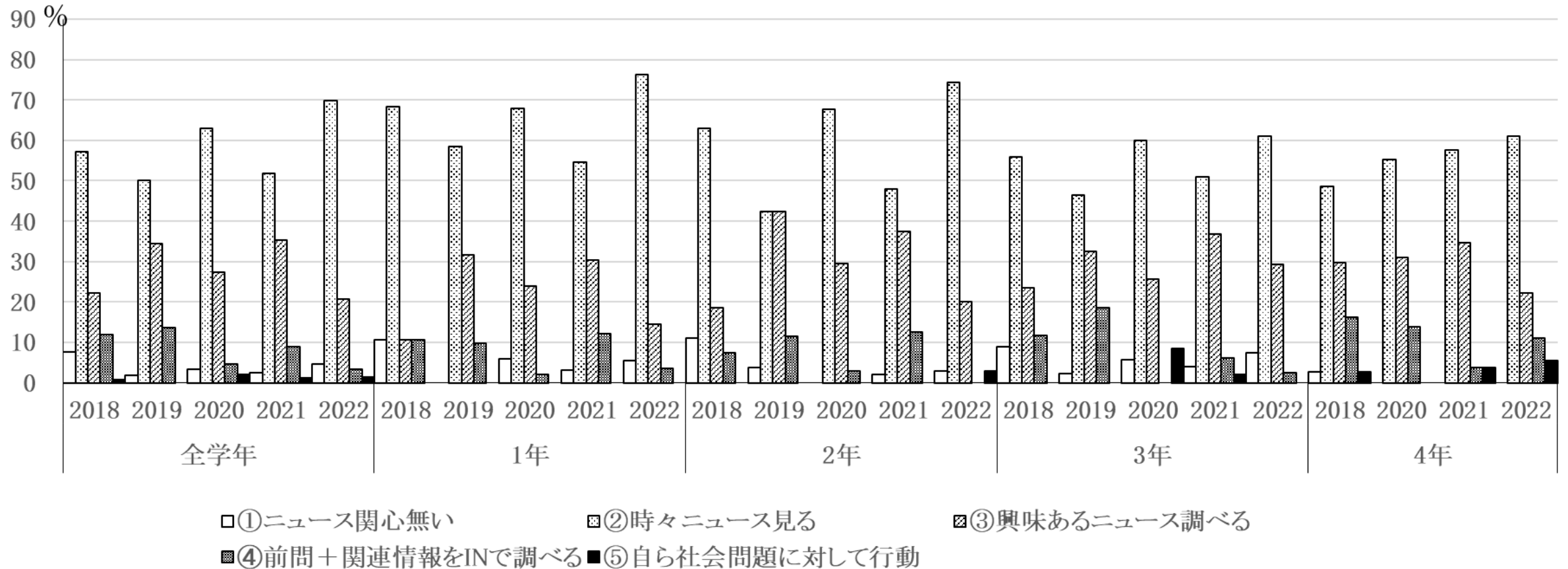


最頻値は、全学年の「②少数友人いる」（年度順に44%、49%、48%、46%、42%）であった。「③多数友人いる」（40%、40%、46%、45%、25%）で2022年度低下した（2021年度比-20%）。

多様な社会への関心 (%)

	全学年					1年					2年					3年					4年			
	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2020	2021	2022
①ニュース関心無い	8	2	3	3	5	11	0	6	3	5	11	4	0	2	3	9	2	6	4	7	3	0	0	0
②時々ニュース見る	57	50	63	52	70	68	59	68	55	76	63	42	68	48	74	56	47	60	51	61	49	55	58	61
③興味あるニュース調べる	22	35	27	35	21	11	32	24	30	15	19	42	29	38	20	24	33	26	37	29	30	31	35	22
④前問+関連情報をINで調べる	12	14	5	9	3	11	10	2	12	4	7	12	3	13	0	12	19	0	6	2	16	14	4	11
⑤自ら社会問題に対して行動	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	9	2	0	3	0	4	6
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

多様な社会への関心

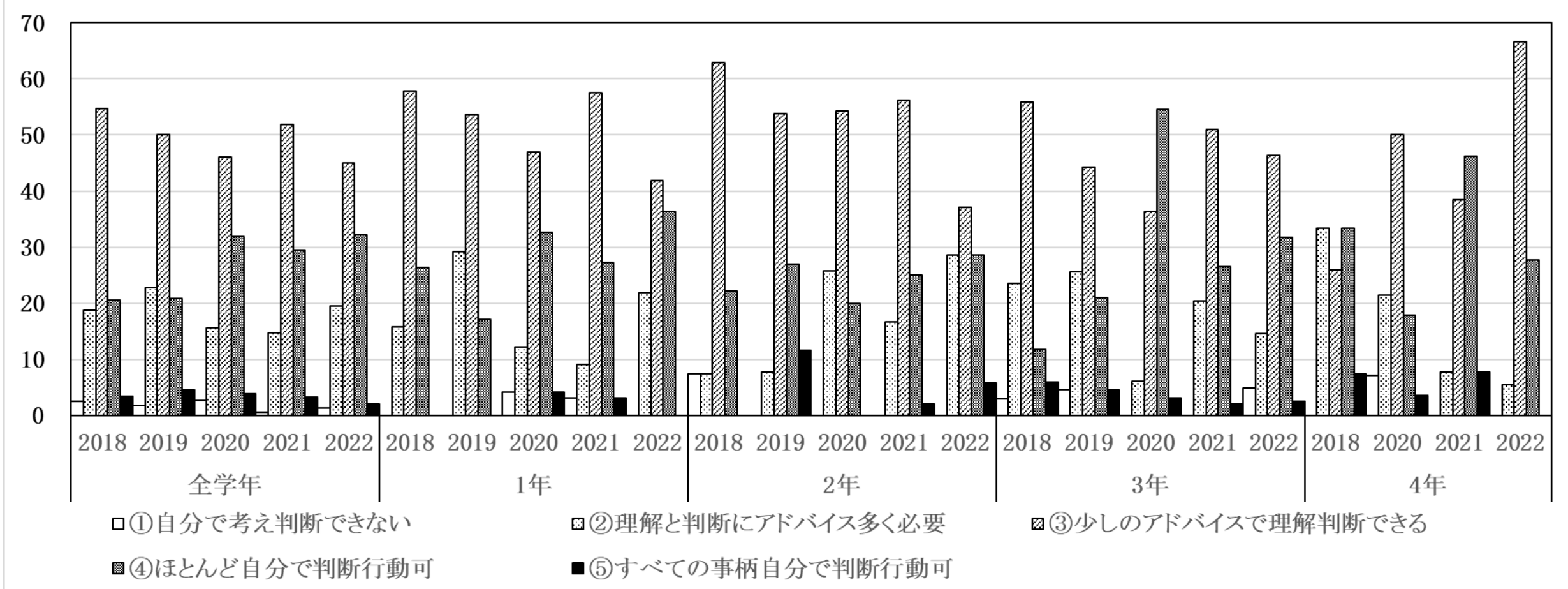


高値項目は、全学年において「②時々ニュースを見る」70%、「③興味あるニュース調べる」21%であった。「③」及び「④+関連情報をINで調べる」の合計は、4年生が17%で最も高かった（低回答率の制約はある）。

思考・判断: 日々の学内外の生活で直面する問題・課題について (%)

	全学年					1年					2年					3年					4年			
	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2020	2021	2022
①自分で考え判断できない	3	2	3	1	1	0	0	4	3	0	7	0	0	0	0	3	5	0	0	5	0	7	0	0
②理解と判断にアドバイス多く必要	19	23	16	15	19	16	29	12	9	22	7	8	26	17	29	24	26	6	20	15	33	21	8	6
③少しのアドバイスで理解判断できる	55	50	46	52	45	58	54	47	58	42	63	54	54	56	37	56	44	36	51	46	26	50	38	67
④ほとんど自分で判断行動可	21	21	32	29	32	26	17	33	27	36	22	27	20	25	29	12	21	55	27	32	33	18	46	28
⑤すべての事柄自分で判断行動可	3	5	4	3	2	0	0	4	3	0	0	12	0	2	6	6	5	3	2	2	7	4	8	0
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

思考・判断

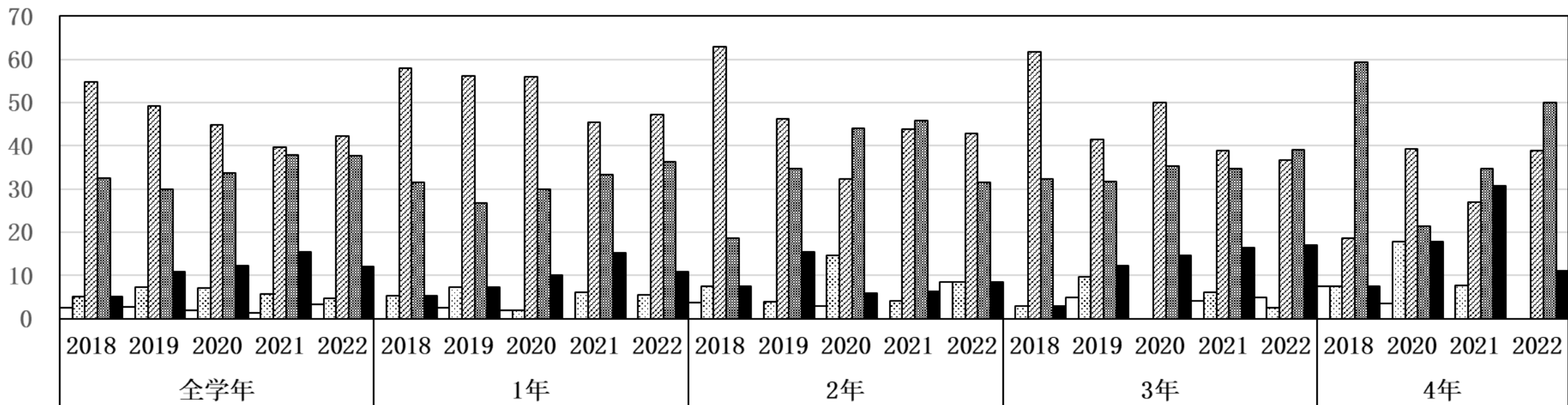


全学年では多い順に「③少しのアドバイスで理解判断できる」45%、「④ほとんど自分で判断行動可」32%であった。

態度; 日頃、自分が他者に取っている態度について (%)

	全学年					1年					2年					3年					4年			
	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2020	2021	2022
①自分の考えだけの行動が多い	3	3	2	1	3	0	2	2	0	0	4	0	3	0	9	0	5	0	4	5	7	4	0	0
②意見を聞こうとするが自分の考えに固執	5	7	7	6	5	5	7	2	6	5	7	4	15	4	9	3	10	0	6	2	7	18	8	0
③自身の良心と社会的ルールで行動可	55	49	45	40	42	58	56	56	45	47	63	46	32	44	43	62	41	50	39	37	19	39	27	39
④自ら律し他者の意見、社会的ルール	32	30	34	38	38	32	27	30	33	36	19	35	44	46	31	32	32	35	35	39	59	21	35	50
⑤他者の立場で倫理観に基づいて行動	5	11	12	15	12	5	7	10	15	11	7	15	6	6	9	3	12	15	16	17	7	18	31	11
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

態度



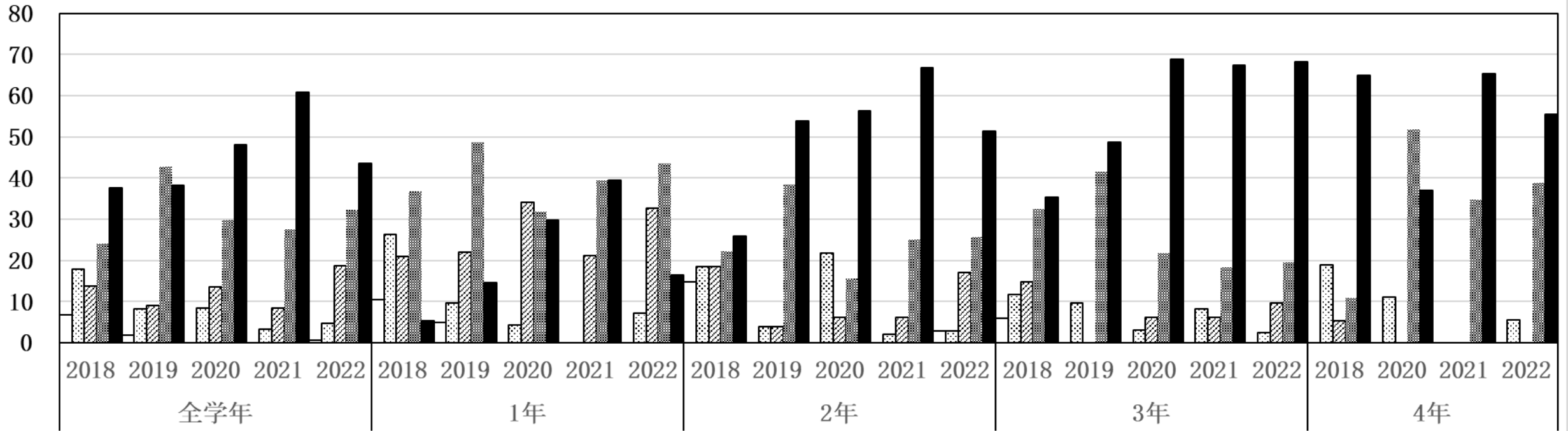
- ①自分の考えだけの行動が多い
- ▨ ②意見を聞こうとするが自分の考えに固執
- ▩ ③自身の良心と社会的ルールで行動可
- ④自ら律し他者の意見、社会的ルールで行動
- ⑤他者の立場で倫理観に基づいて行動

高値項目は、全学年において「③自身の良心と社会的ルールで行動可」42%、「④自ら律し他者の意見、社会的ルールで行動」38%であった。3、4年生は、「④」および「⑤他者の立場で倫理観に基づいて行動」の合計が過半数であった。

情報リテラシー (%)

	全学年					1年					2年					3年					4年				
	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2020	2021	2022	
①学内メールの設定できていない	7	2	0	0	1	11	5	0	0	0	15	0	0	0	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
②学内メールの設定できている	18	8	8	3	5	26	10	4	0	7	19	4	22	2	3	12	10	3	8	2	19	11	0	6	
③ ②+Word,Excelでレポート作成可能	14	9	14	8	19	21	22	34	21	33	19	4	6	6	17	15	0	6	6	10	5	0	0	0	
④ ③+pptで発表資料作成可能	24	43	30	28	32	37	49	32	39	44	22	38	16	25	26	32	41	22	18	20	11	52	35	39	
⑤ ④+文献検索のDL可能	38	38	48	61	44	5	15	30	39	16	26	54	56	67	51	35	49	69	67	68	65	37	65	56	
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	

情報リテラシー



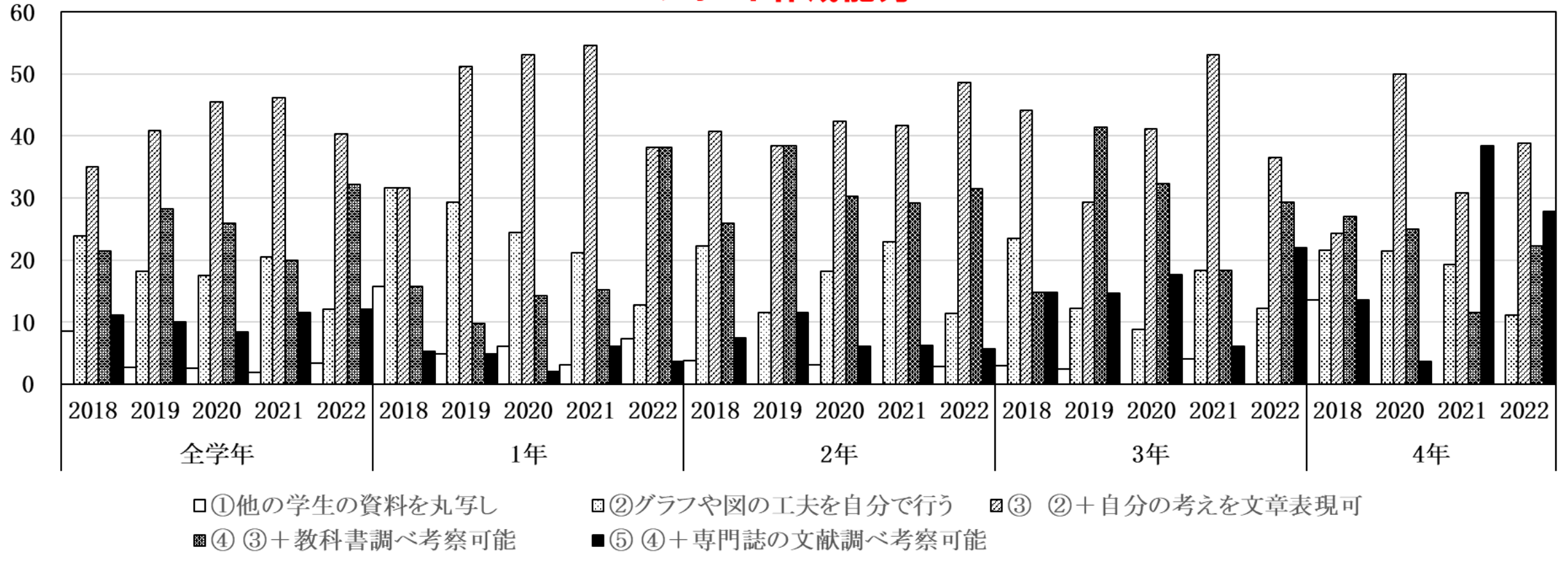
- ①学内メールの設定できていない
- ▨ ②学内メールの設定できている
- ▩ ③ ②+Word,Excelでレポート作成可能
- ▤ ④ ③+pptで発表資料作成可能
- ⑤ ④+文献検索のDL可能

高値項目は、全学年において「⑤前問+文献検索のDL可能」44%であり、2021年度まで増加傾向だったが、2022年度は低下した (-17%)。この傾向は1、2年生において同様であった。

レポート作成能力 (%)

	全学年					1年					2年					3年					4年			
	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2020	2021	2022
①他の学生の資料を丸写し	9	3	3	2	3	16	5	6	3	7	4	0	3	0	3	3	2	0	4	0	14	0	0	0
②グラフや図の工夫を自分で行う	24	18	18	21	12	32	29	24	21	13	22	12	18	23	11	24	12	9	18	12	22	21	19	11
③ ②+自分の考えを文章表現可	35	41	45	46	40	32	51	53	55	38	41	38	42	42	49	44	29	41	53	37	24	50	31	39
④ ③+教科書調べ考察可能	21	28	26	20	32	16	10	14	15	38	26	38	30	29	31	15	41	32	18	29	27	25	12	22
⑤ ④+専門誌の文献調べ考察可能	11	10	8	12	12	5	5	2	6	4	7	12	6	6	6	15	15	18	6	22	14	4	38	28
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

レポート作成能力

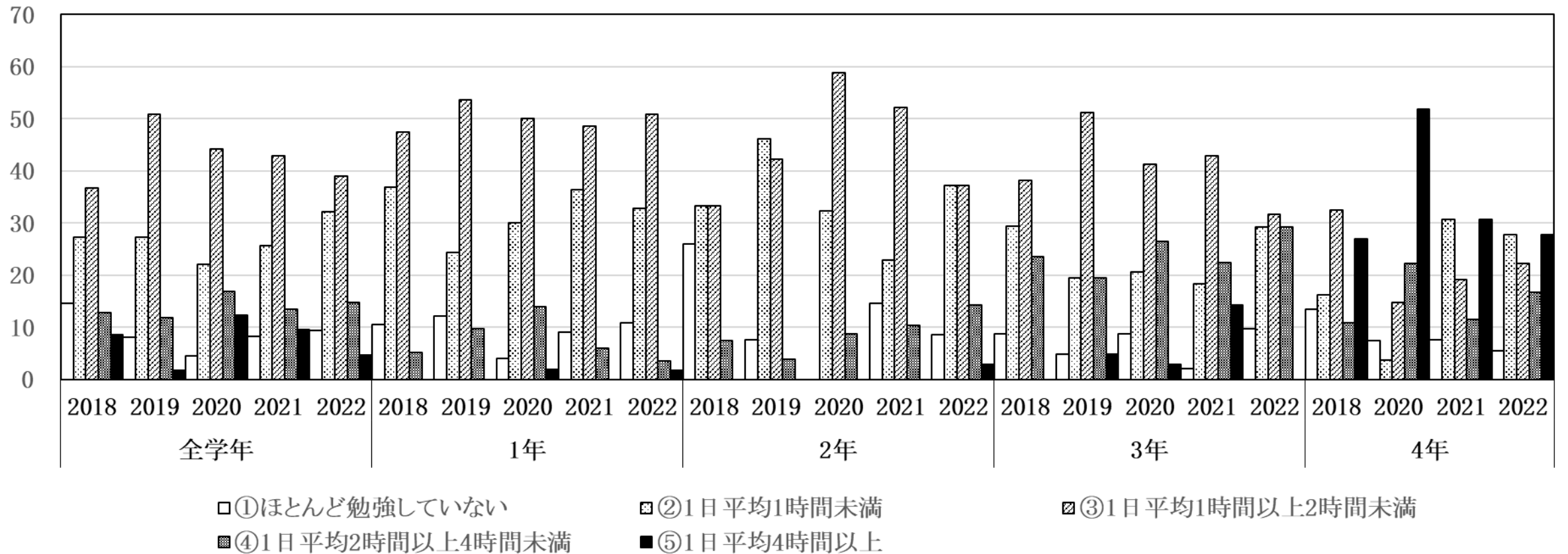


高値項目は、全学年において「③前問+自分の考えを文章表現可」40%、「④前問+教科書調べ考察可能」32%、であった。3, 4年生は、「④」及び「前問+専門誌の文献を調べ考察可能」の割合が過半数であった (51%、50%)。

学修の習慣: 日頃の勉強時間について (%)

	全学年					1年					2年					3年					4年			
	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2020	2021	2022
①ほとんど勉強していない	15	8	5	8	9	11	12	4	9	11	26	8	0	15	9	9	5	9	2	10	14	7	8	6
②1日平均1時間未満	27	27	22	26	32	37	24	30	36	33	33	46	32	23	37	29	20	21	18	29	16	4	31	28
③1日平均1時間以上2時間未満	37	51	44	43	39	47	54	50	48	51	33	42	59	52	37	38	51	41	43	32	32	15	19	22
④1日平均2時間以上4時間未満	13	12	17	13	15	5	10	14	6	4	7	4	9	10	14	24	20	26	22	29	11	22	12	17
⑤1日平均4時間以上	9	2	12	10	5	0	0	2	0	2	0	0	0	0	3	0	5	3	14	0	27	52	31	28
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

学習時間

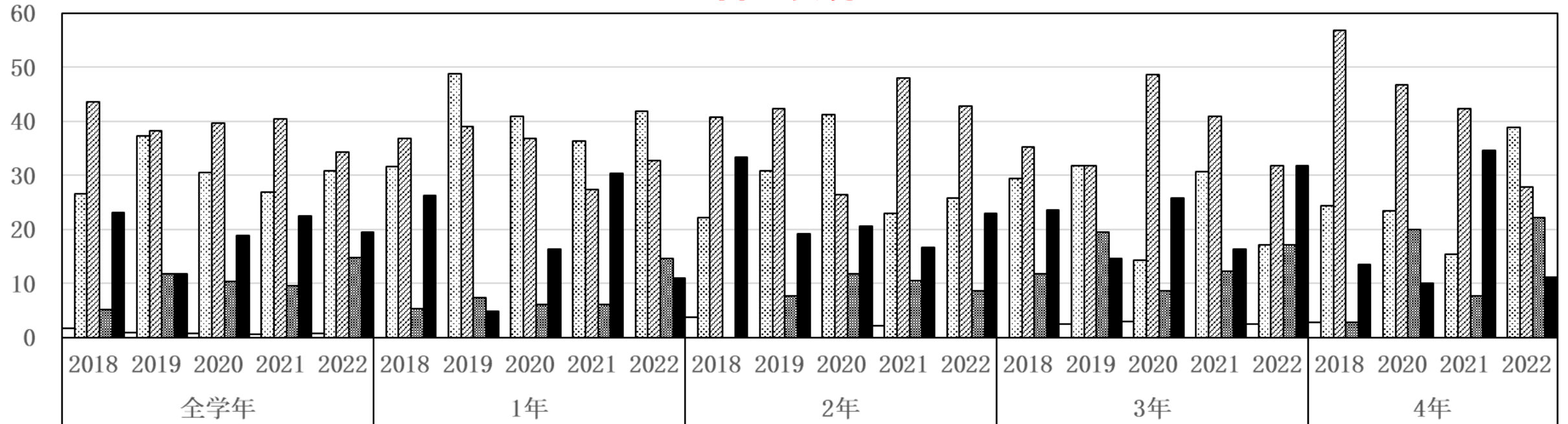


高値項目は、全学年において「③1日平均1時間以上2時間未満」39%、「②1日平均1時間未満」32%であった。4年生になると全ての年度で「⑤1日平均4時間以上」が1、2、3年生に比して著しく増加している。

自己表現 (%)

	全学年					1年					2年					3年					4年			
	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2020	2021	2022
①発言したことない	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	4	0	0	2	0	0	2	3	0	2	3	0	0	0
②指されれば自身の意見発表可能	26	37	31	27	31	32	49	41	36	42	22	31	41	23	26	29	32	14	31	17	24	23	15	39
③自分から進んでの発言は多くない	44	38	40	40	34	37	39	37	27	33	41	42	26	48	43	35	32	49	41	32	57	47	42	28
④積極的に発言するが十分に伝えられ	5	12	10	10	15	5	7	6	6	15	0	8	12	10	9	12	20	9	12	17	3	20	8	22
⑤積極的に発言し十分に表現できる	23	12	19	22	19	26	5	16	30	11	33	19	21	17	23	24	15	26	16	32	14	10	35	11
計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

自己表現



□ ①発言したことない

▣ ②指されれば自身の意見発表可能

▨ ③自分から進んでの発言は多くない

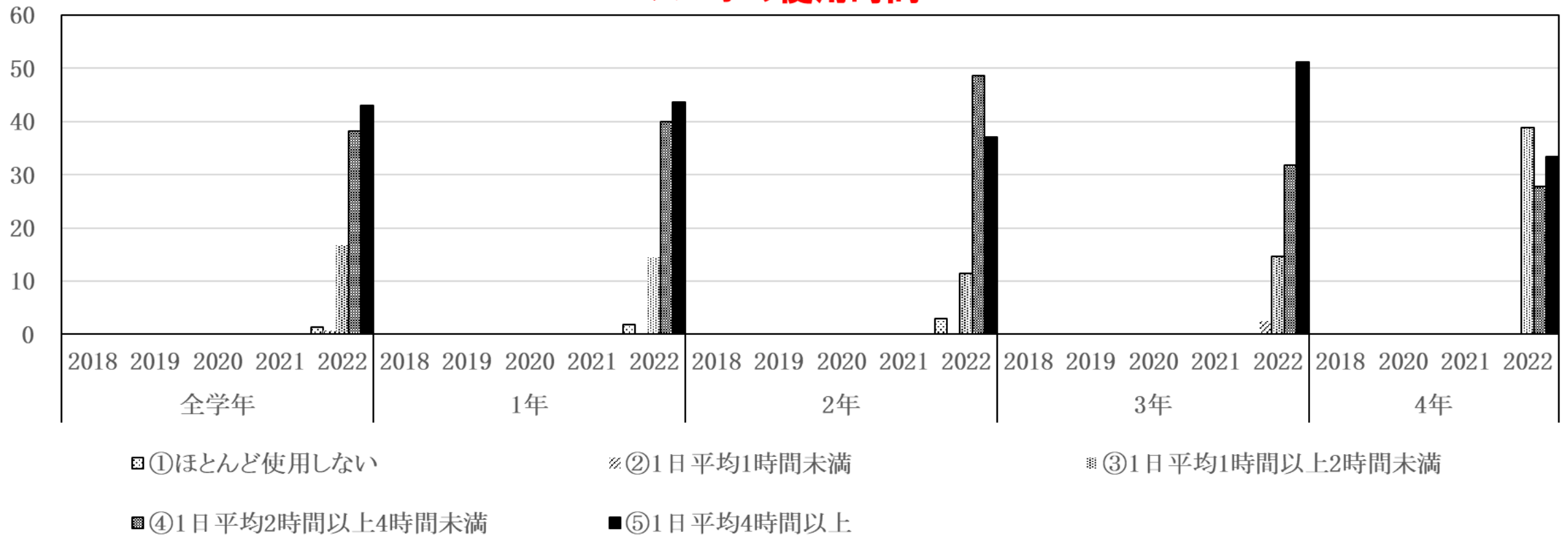
▤ ④積極的に発言するが十分に伝えられない ■ ⑤積極的に発言し十分に表現できる

高値項目は、全学年において「③自分から進んでの発言は多くない」34%、「②指されれば自身の意見発表可能」31%であった。「④積極的に発言するが十分に伝えられない」及び「⑤積極的に発言し十分に表現できる」の合計は、学年の試行による傾向は見いだせなかった（1年生26%、2年生32%、3年生49%、4年生33%）。

スマホの使用時間; 学習のための時間は除く (%)

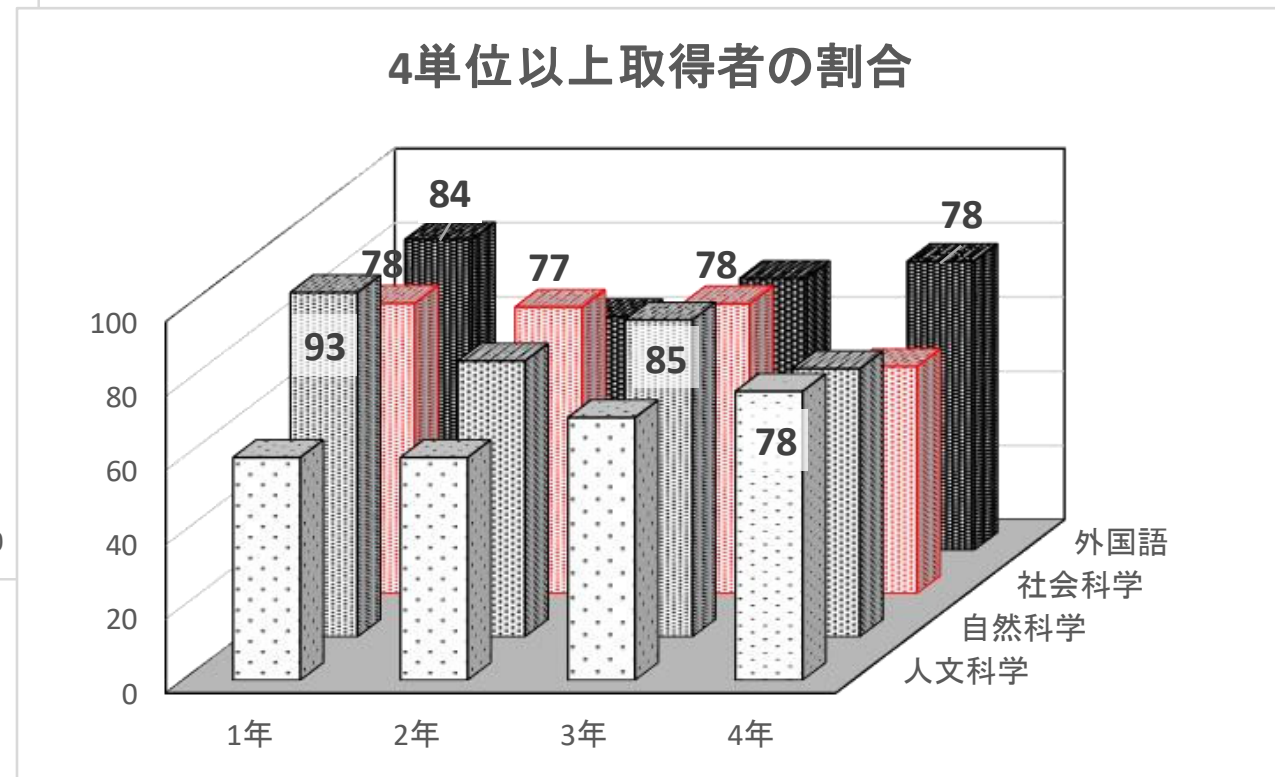
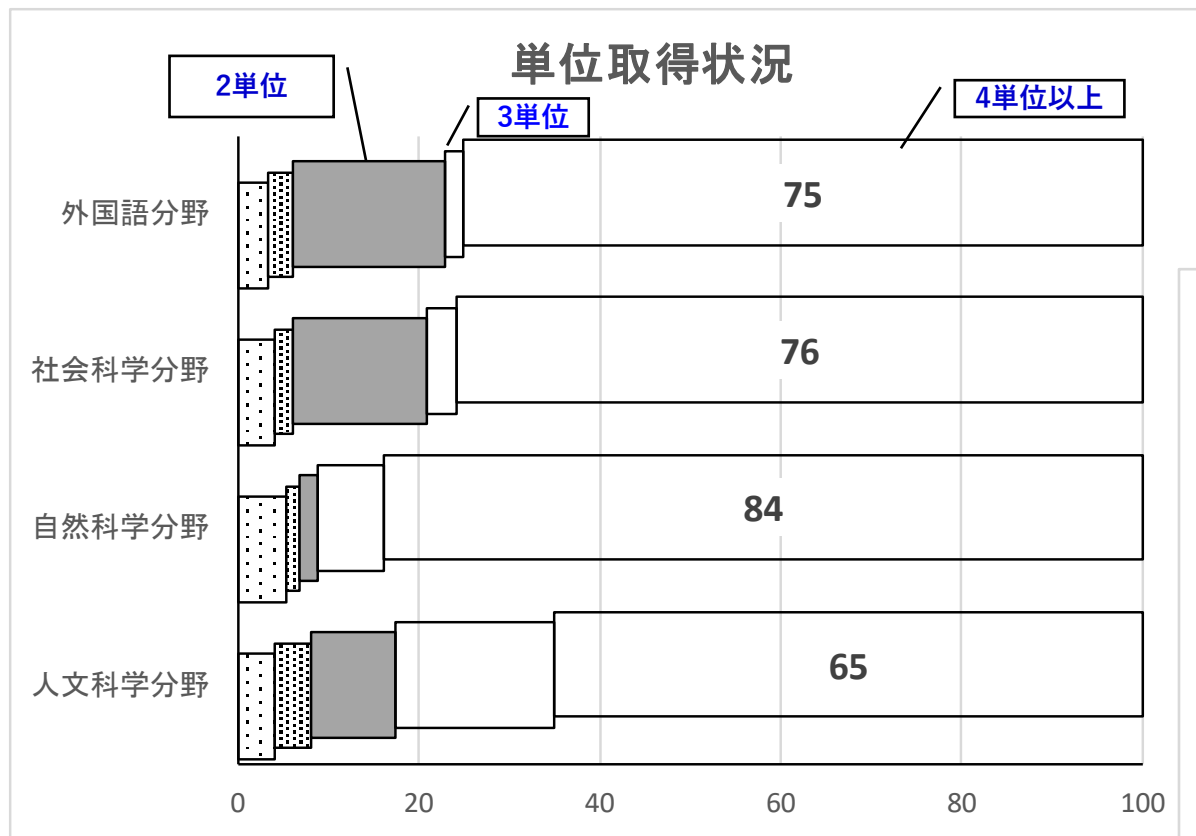
	全学年					1年					2年					3年					4年				
	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2019	2020	2021	2022	2018	2020	2021	2022	
①ほとんど使用しない					1					2					3					0					0
②1日平均1時間未満					1					0					0					2					0
③1日平均1時間以上2時間未満					17					15					11					15					39
④1日平均2時間以上4時間未満					38					40					49					32					28
⑤1日平均4時間以上					43					44					37					51					33
計					100					100					100					100					100

スマホの使用時間



高値項目は、全学年において「⑤1日平均4時間以上」43%、「④1日平均2時間以上4時間未満」38%であった。4年生になると「⑤1日平均4時間以上」が著しく減少し（1年生44%、2年生37%、3年生51%、4年生33%）、「③1日平均1時間以上2時間未満」が増加した（同順、15%、11%、15%、4年生39%）。

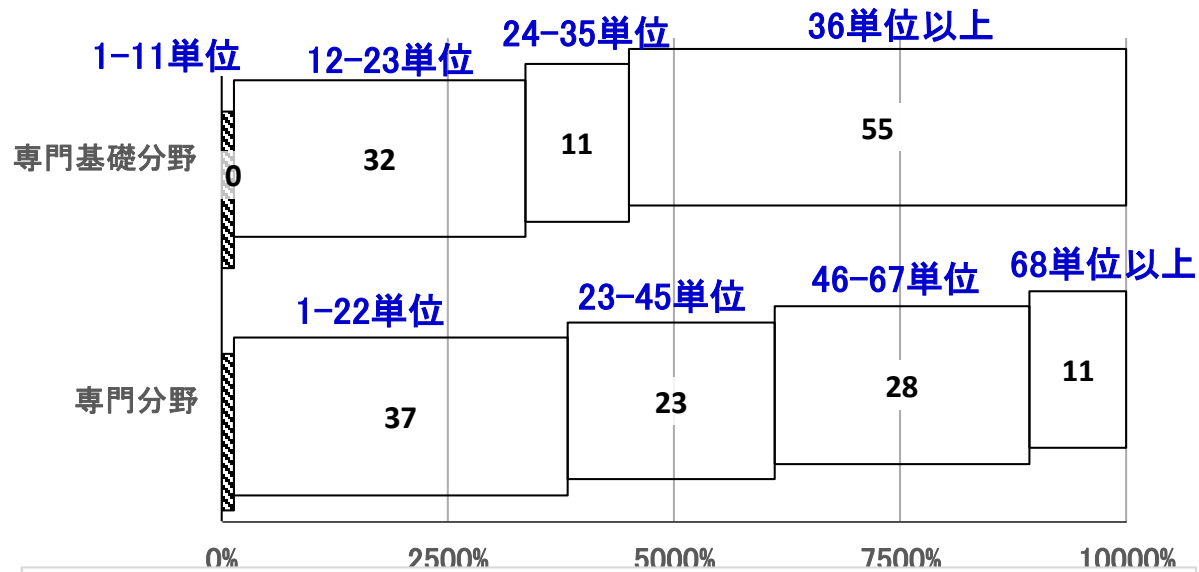
2022年度の単純集計、クロス集計の図表



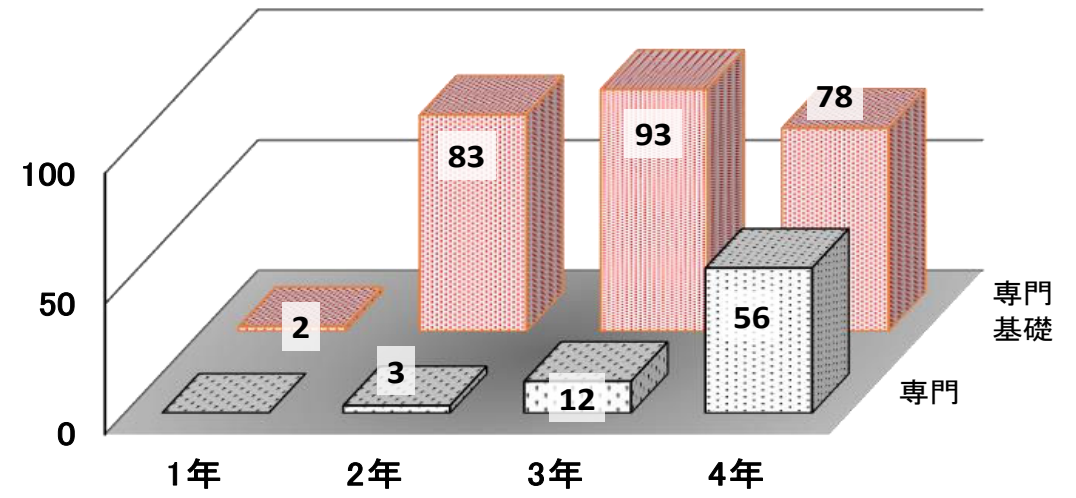
4単位以上取得は、全学年において「自然科学」84%、「社会科学」76%、「外国語」75%であった。「人文科学」は学年進行とともに増加傾向であった。

単位取得状況 「専門基礎分野」 「専門分野」%

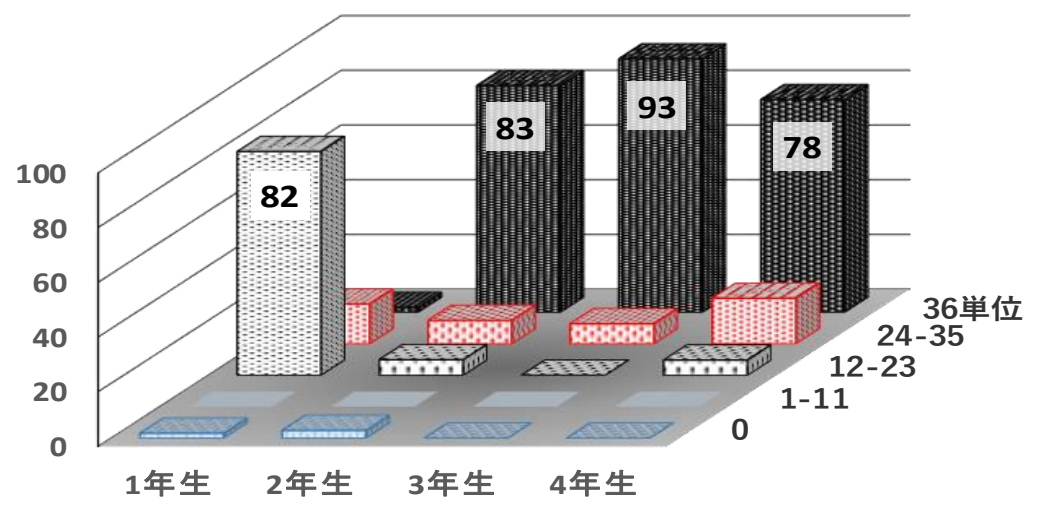
単位取得状況



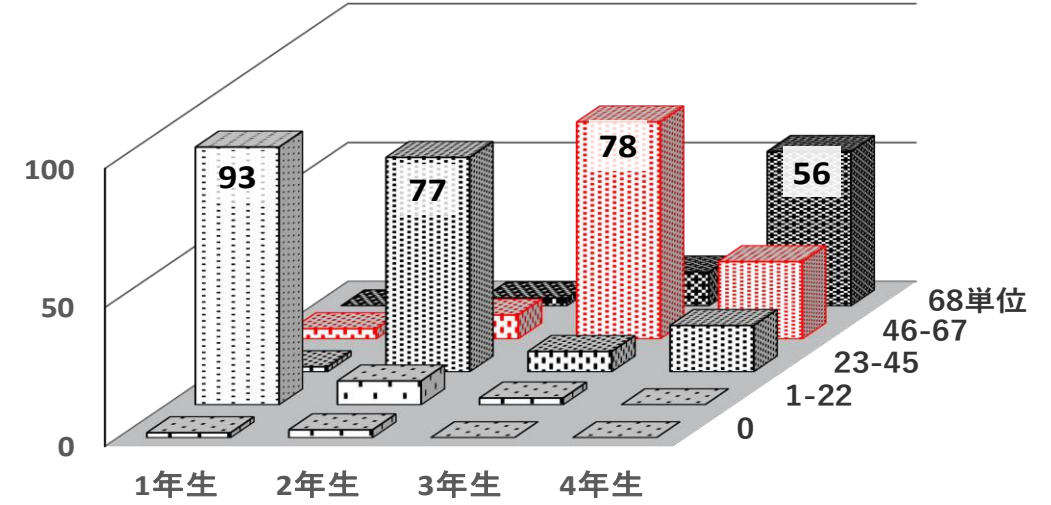
4単位以上取得者の割合



専門基礎分野の単位取得者割合

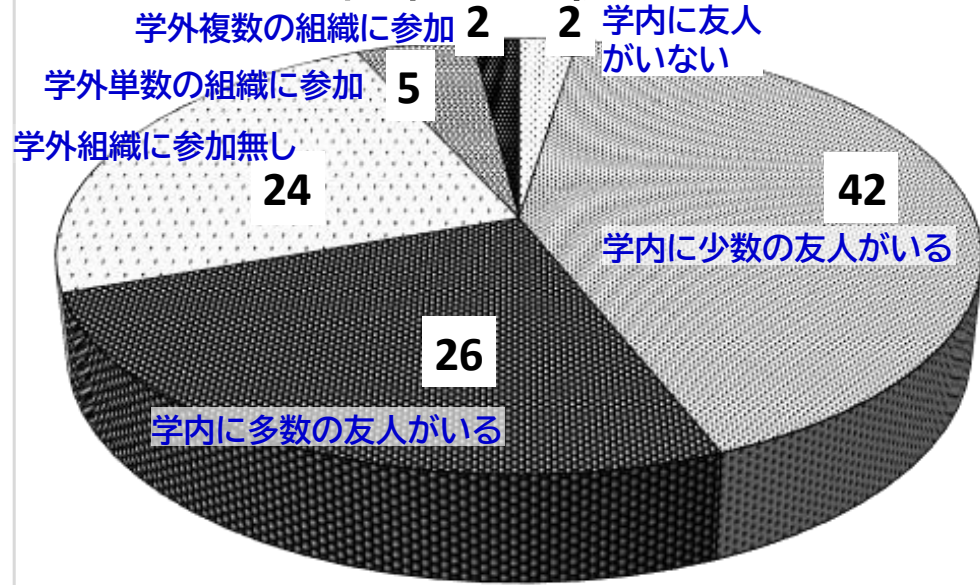


専門分野の単位取得者割合

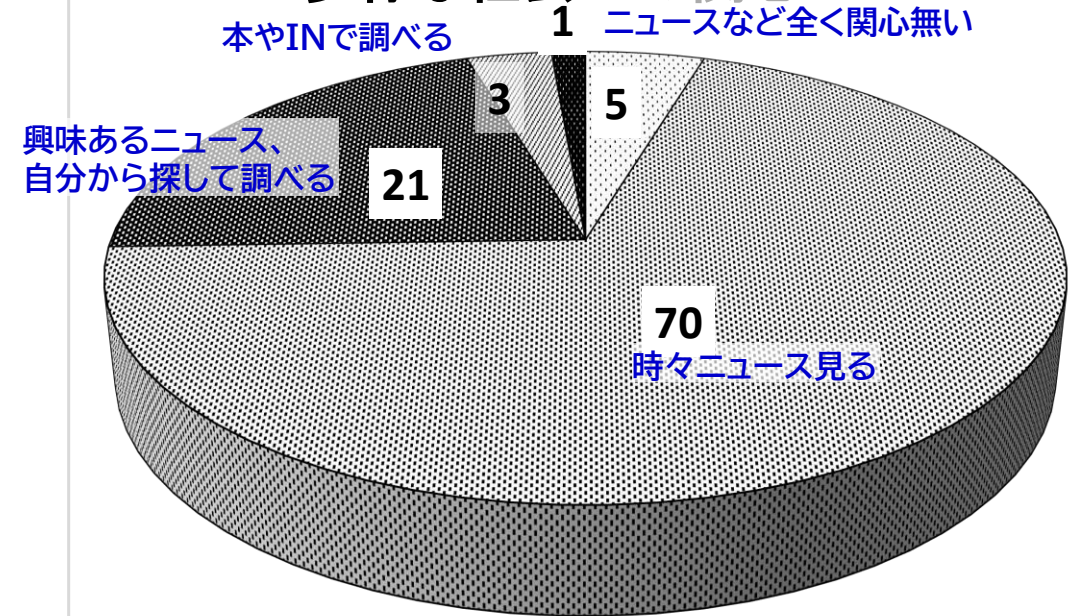


専門基礎分野、専門分野は学年進行に応じて単位を取得していた。

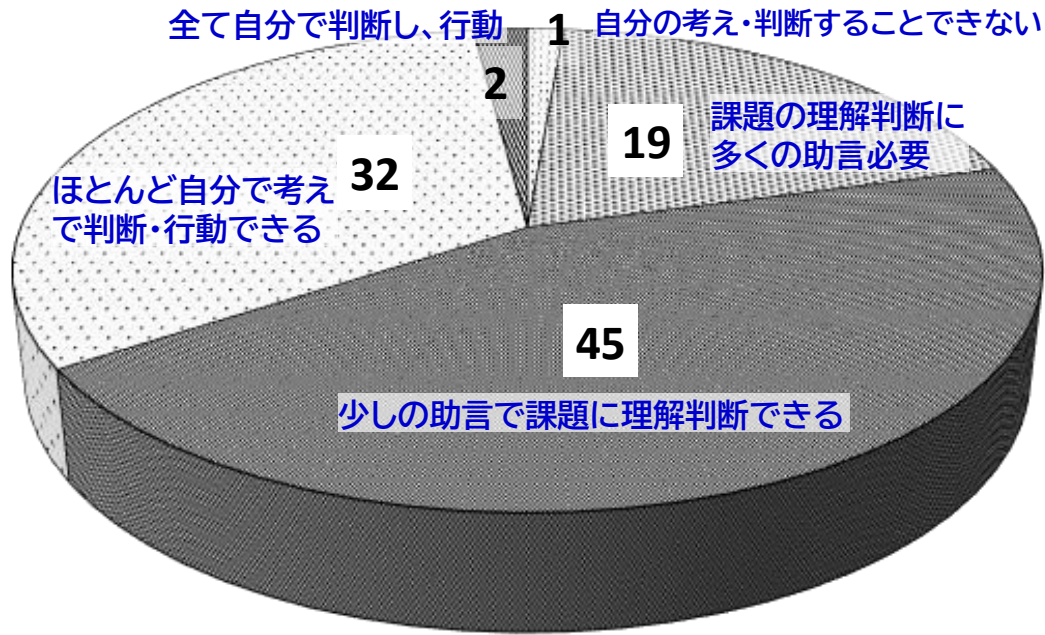
他者への関わり



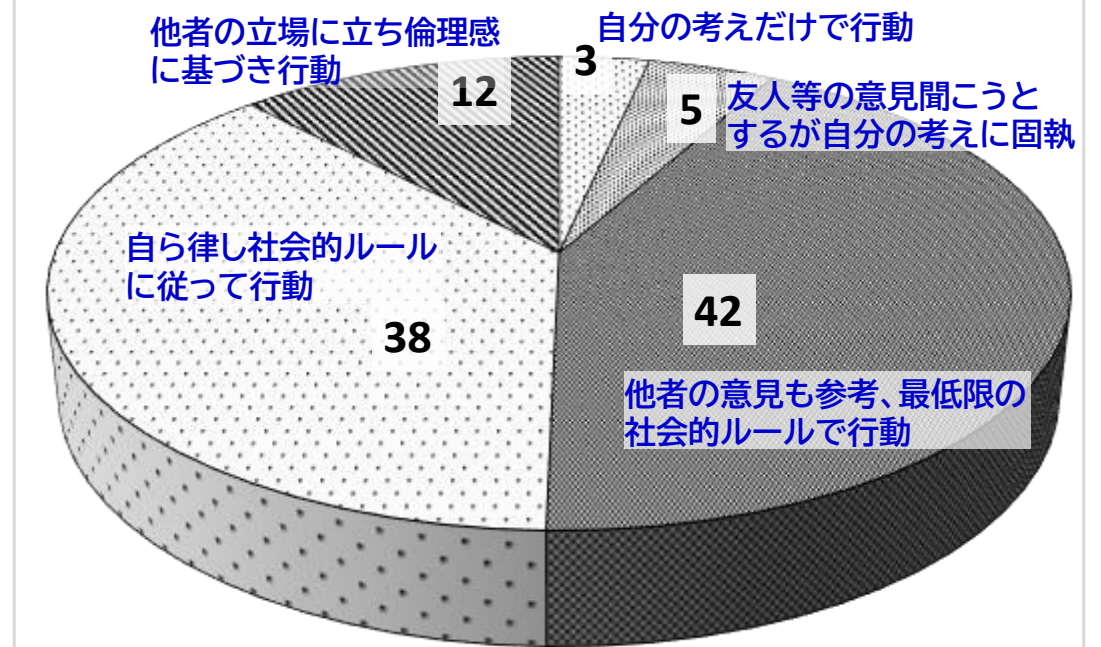
多様な社会への関心



思考・判断：生活で直面する問題

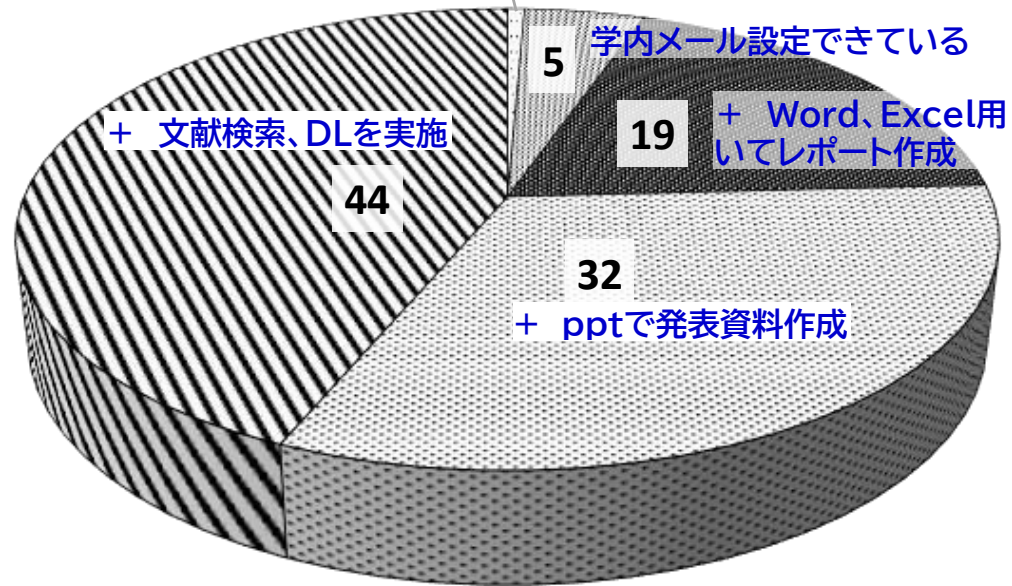


態度：日頃他者にとっている態度

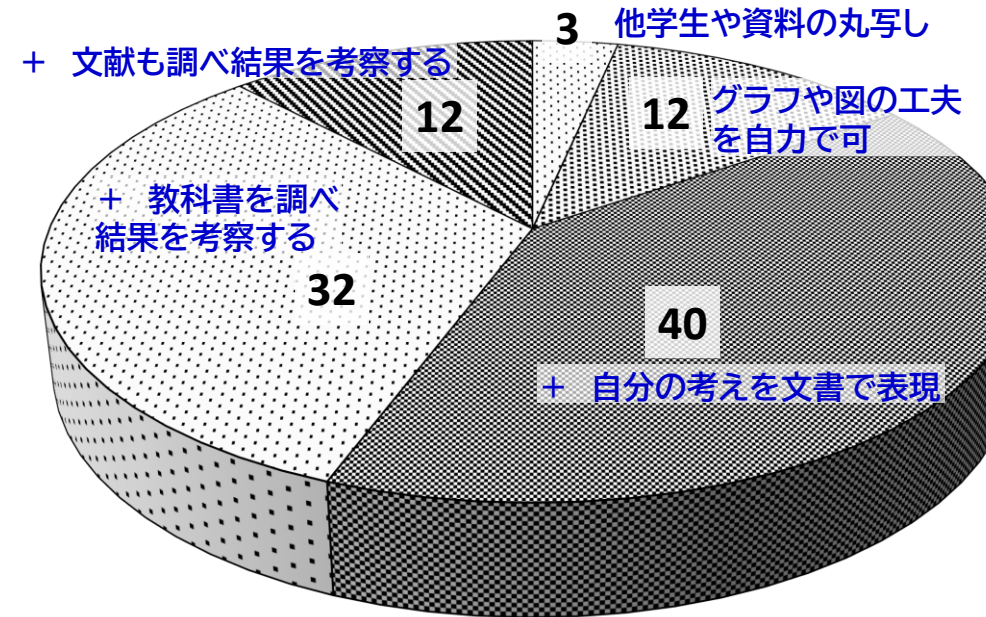


情報リテラシー

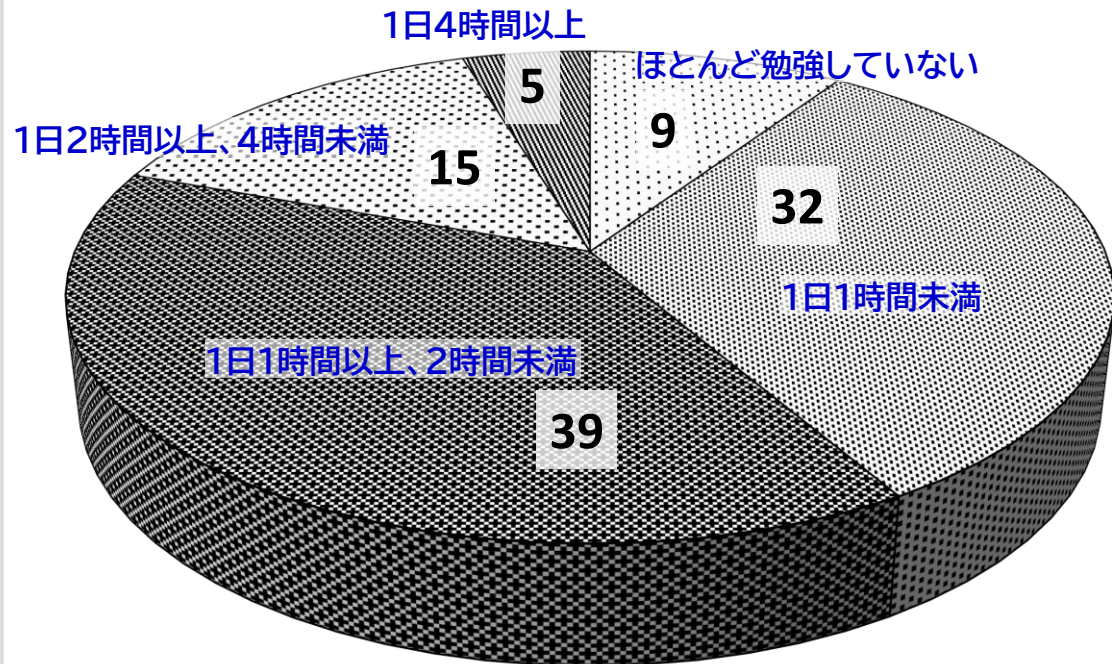
1 学内メール設定できない



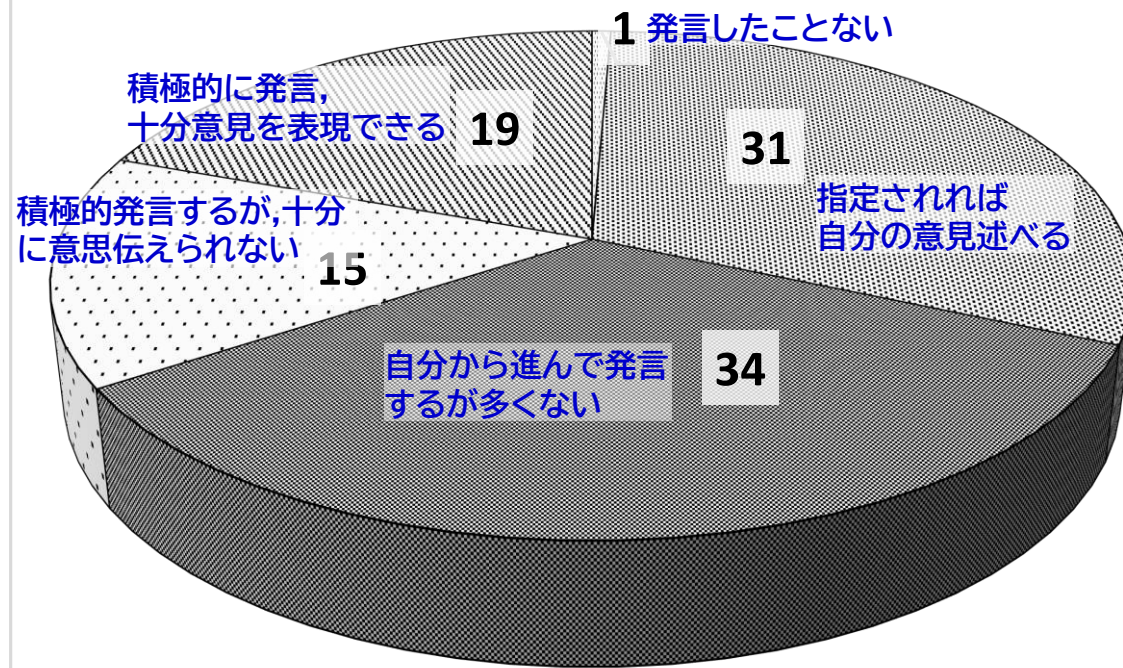
レポート作成能力



日頃の勉強時間

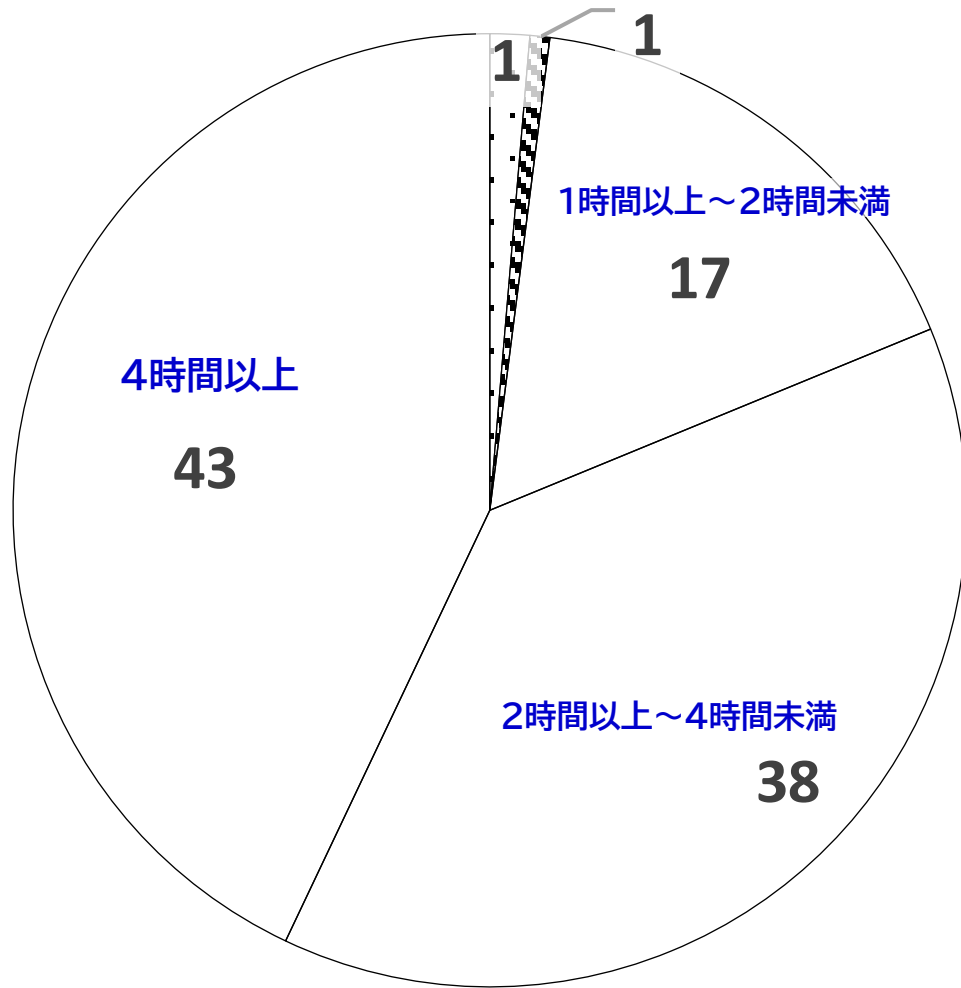


授業・GW等での自己表現

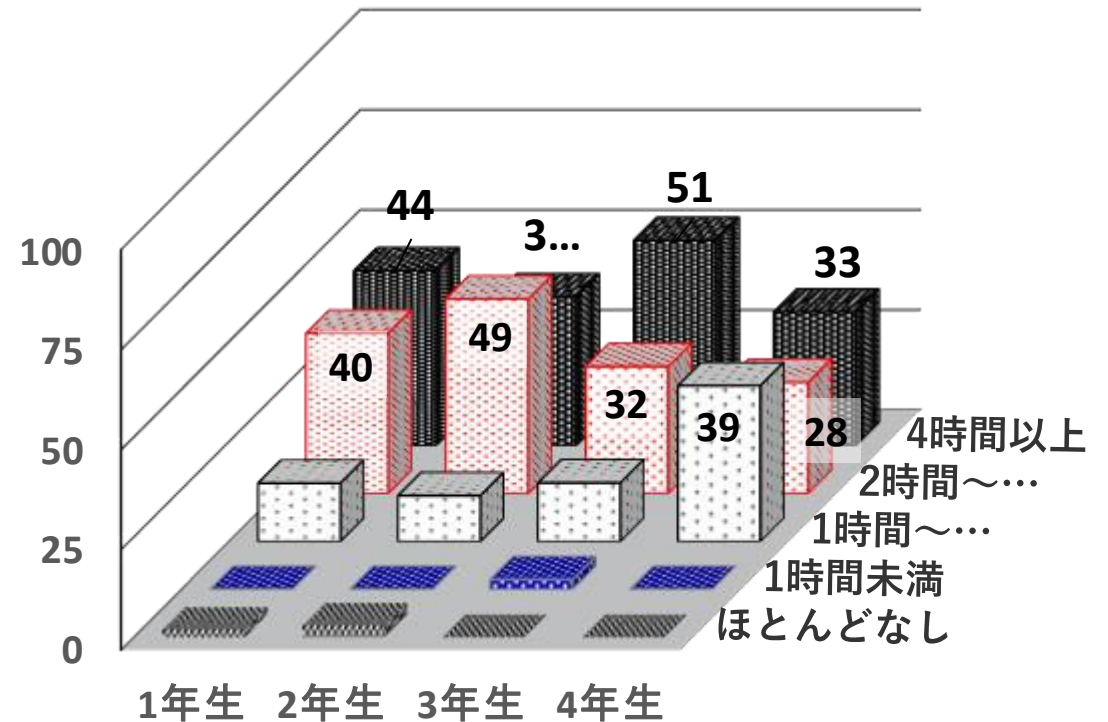


(新規) 学習以外でのスマホの使用時間、学年別使用時間 %

スマホ使用時間(1日平均時間)



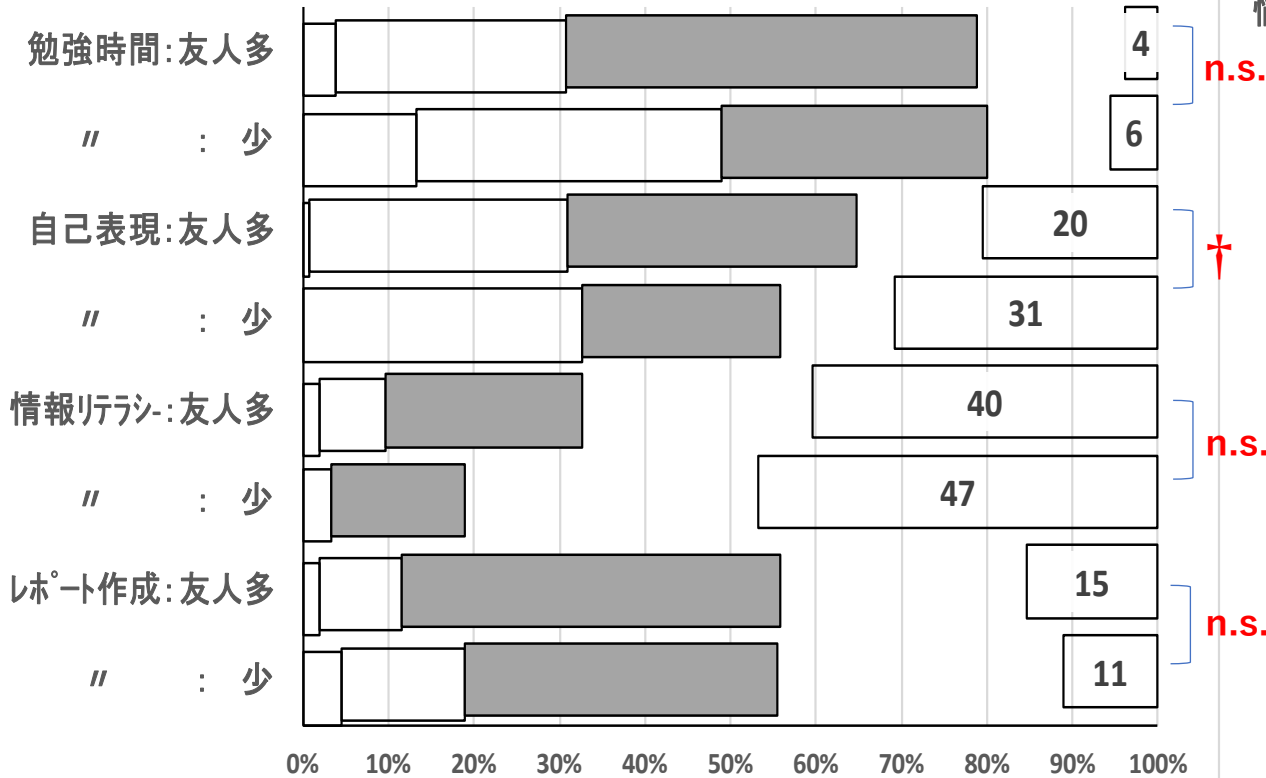
スマホ使用時間-学年別-



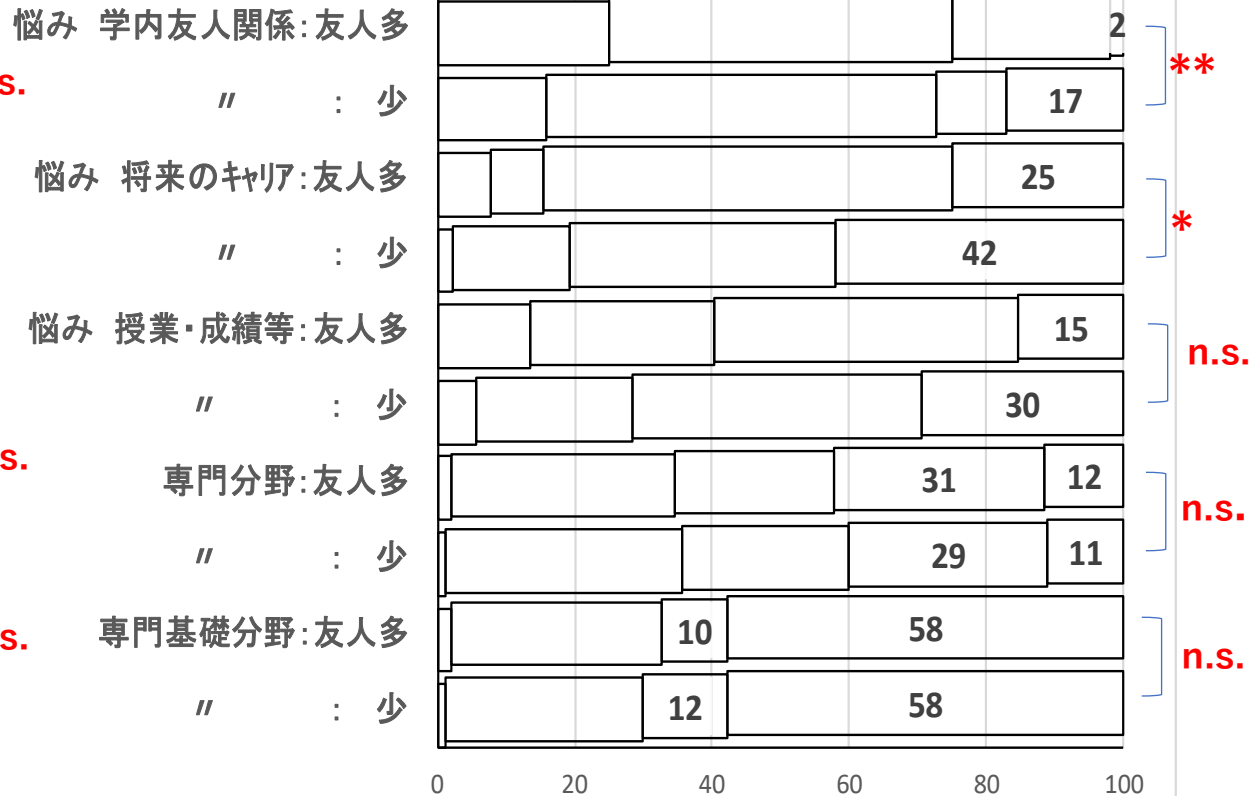
- 使用時間は1日平均2時間~4時間未満 (38%) と4時間未満 (43%) に2分される。
- 学年による傾向はみられず、各学年の集団の特徴を示している。3年生の半分以上が4時間以上使用している。

他者への関わりで学内に友人が「いない/少ない」と「多い」に2分類した場合の他の項目比較

他者への関わり:学内友人「無・少ない」と「多い」の比較



他者への関わり:学内友人「無・少ない」と「多い」の比較



勉強時間：していない/日、<1時間、≥ 1時間～<2時間、2時間～<4時間、≥4時間

自己表現：発言したことない、指定されれば自分の意見述べる、自分から進んで発言するが少ない、積極的に発言するが十分自分の意見伝えられない、積極的に発言し十分自分の意見を表現できる

情報リテラシー：学内メール設定できていない、学兄メール設定済、加えWord,Excelでレポート作成、加えパワーポイントで発表資料作成、加え文献検索とダウンロード実施

レポート作成：他の学生や資料の丸写し、グラフや図などの工夫を自分で行う、加え自分の考えを文章で表現、教科書で調べて結果を考察できる、加え専門誌の文献を調べ結果を調査できる

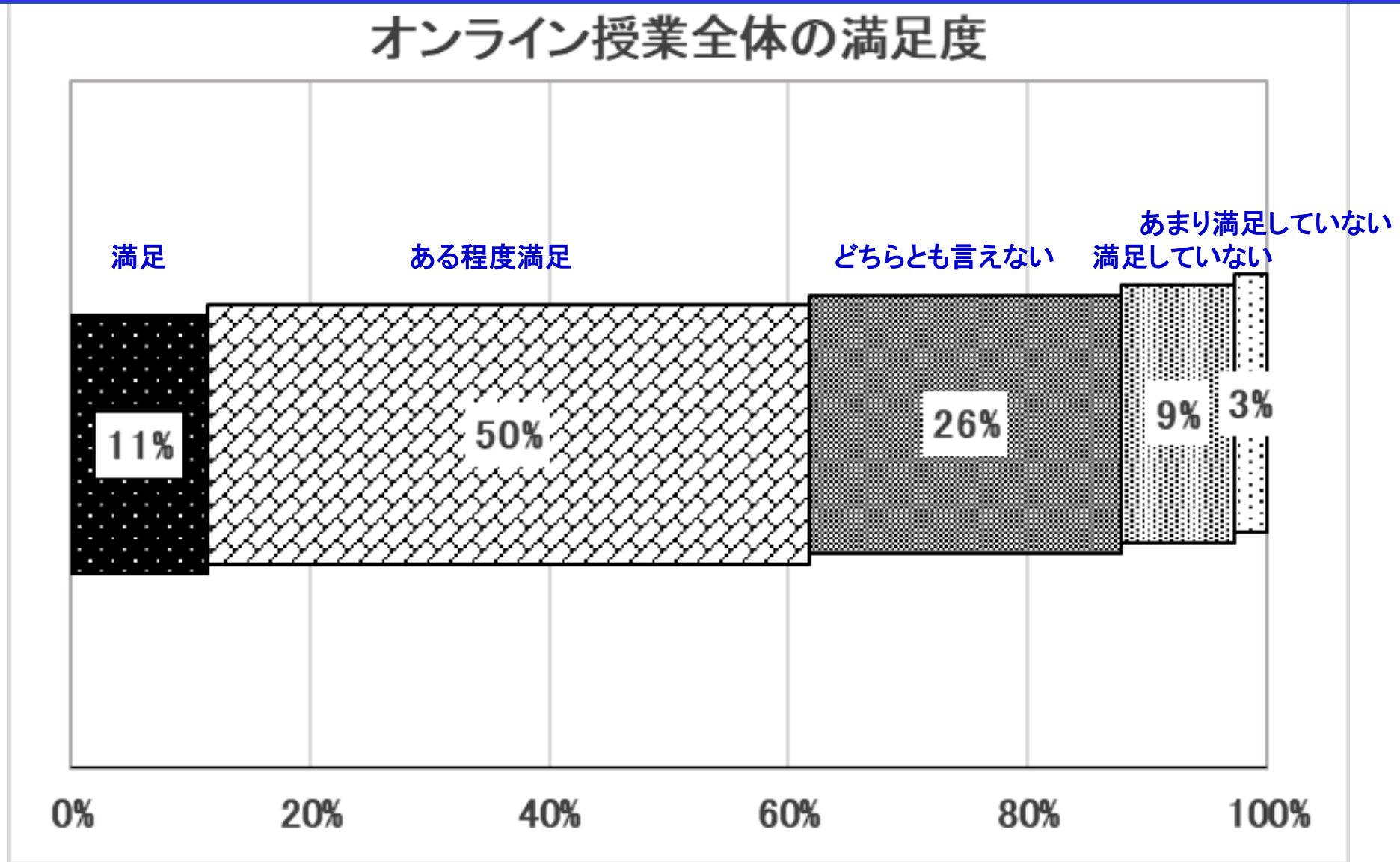
悩み；学内友人関係：ある、少しある、ほとんどない、ない

悩み；将来のキャリア：ある、少しある、ほとんどない、ない

悩み；授業・成績等：ある、少しある、ほとんどない、ない

専門分野：1-22単位取得、23-45単位、46-67単位、68単位以上

専門基礎分野：1-11単位取得、12-23単位、24-35単位、36単位以上

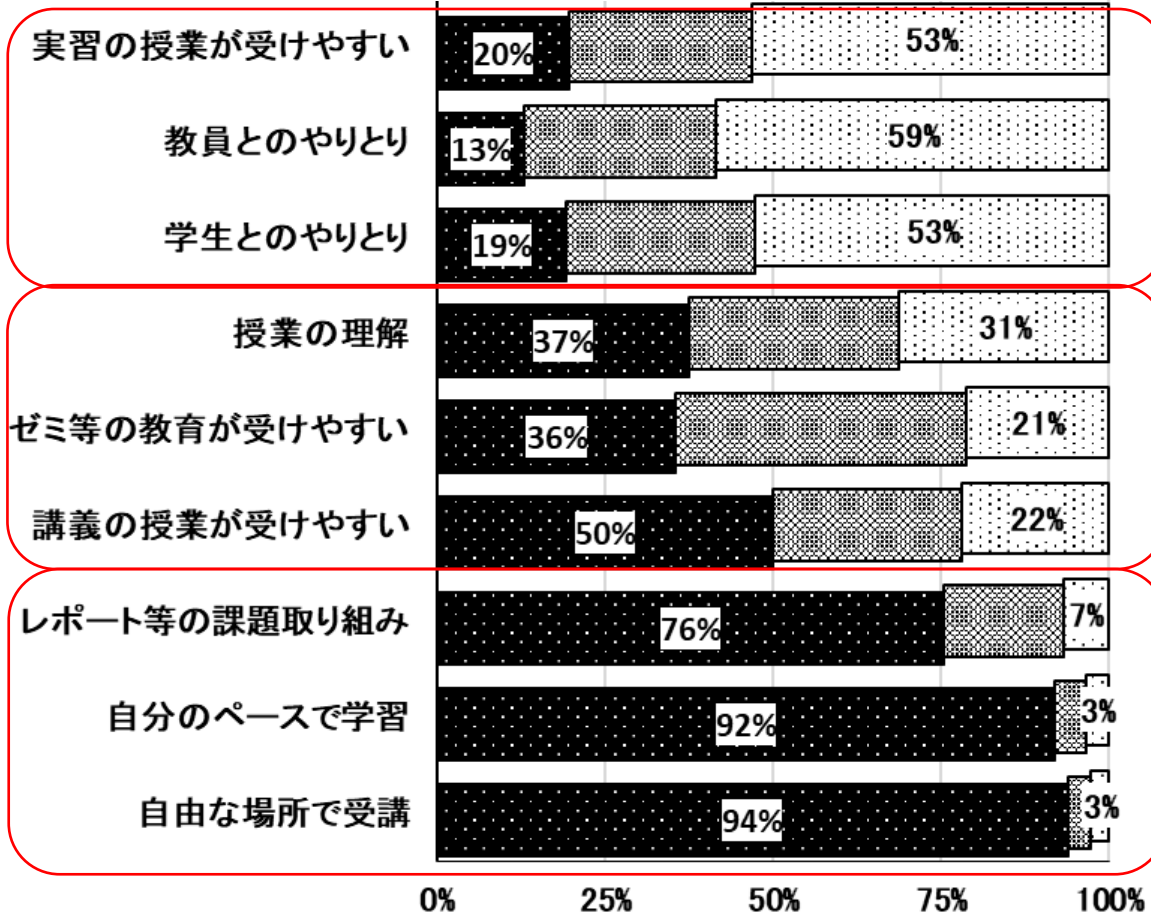


「満足／ある程度満足」61%（2021年度50%）が「あまり満足していない／満足していない」11%（22%）を50%（28%）上回っていた。

オンデマンド型授業、双方向型授業における「良い」「どちらでもない」「悪い」の満足度 %

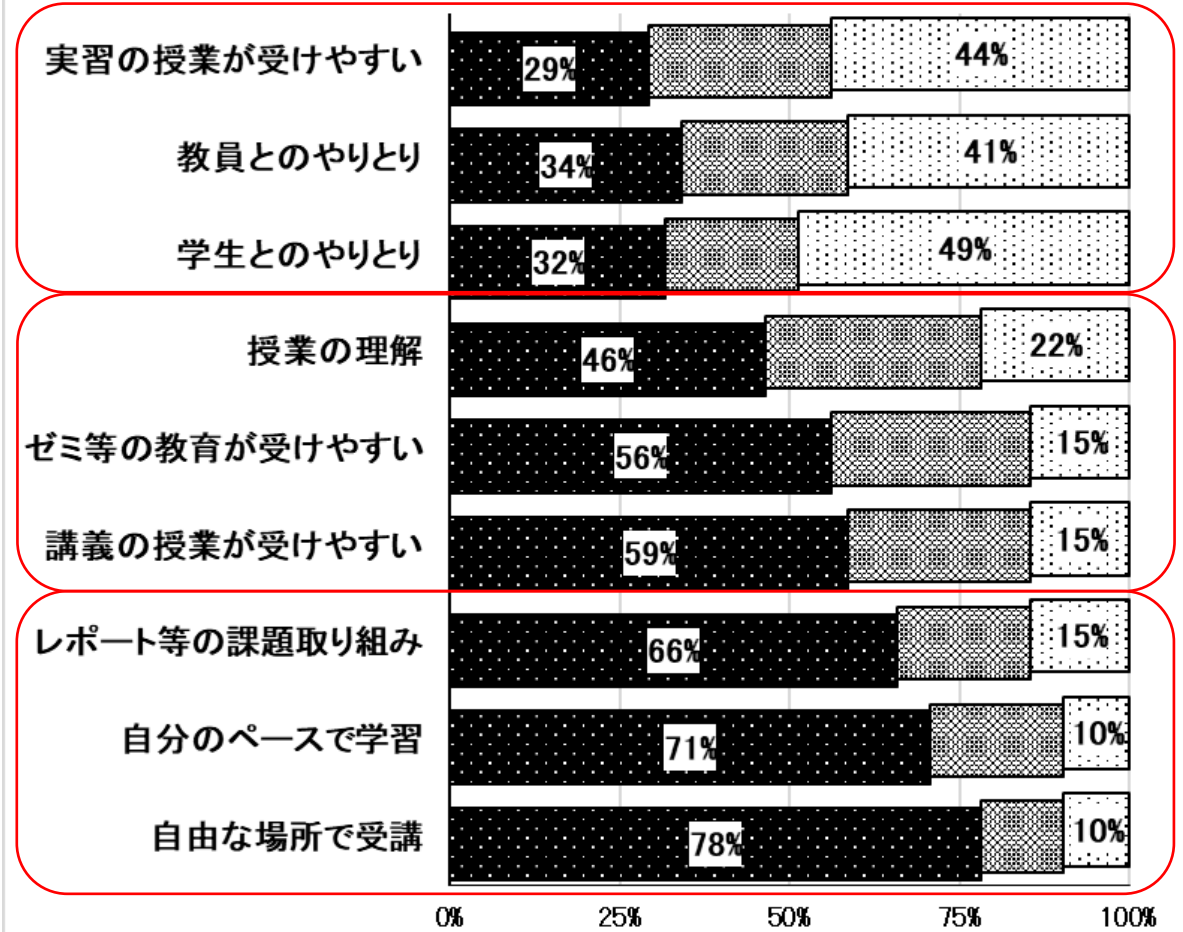
対面型授業に比べて**オンデマンド型授業**は？

良い どちらでもない 悪い



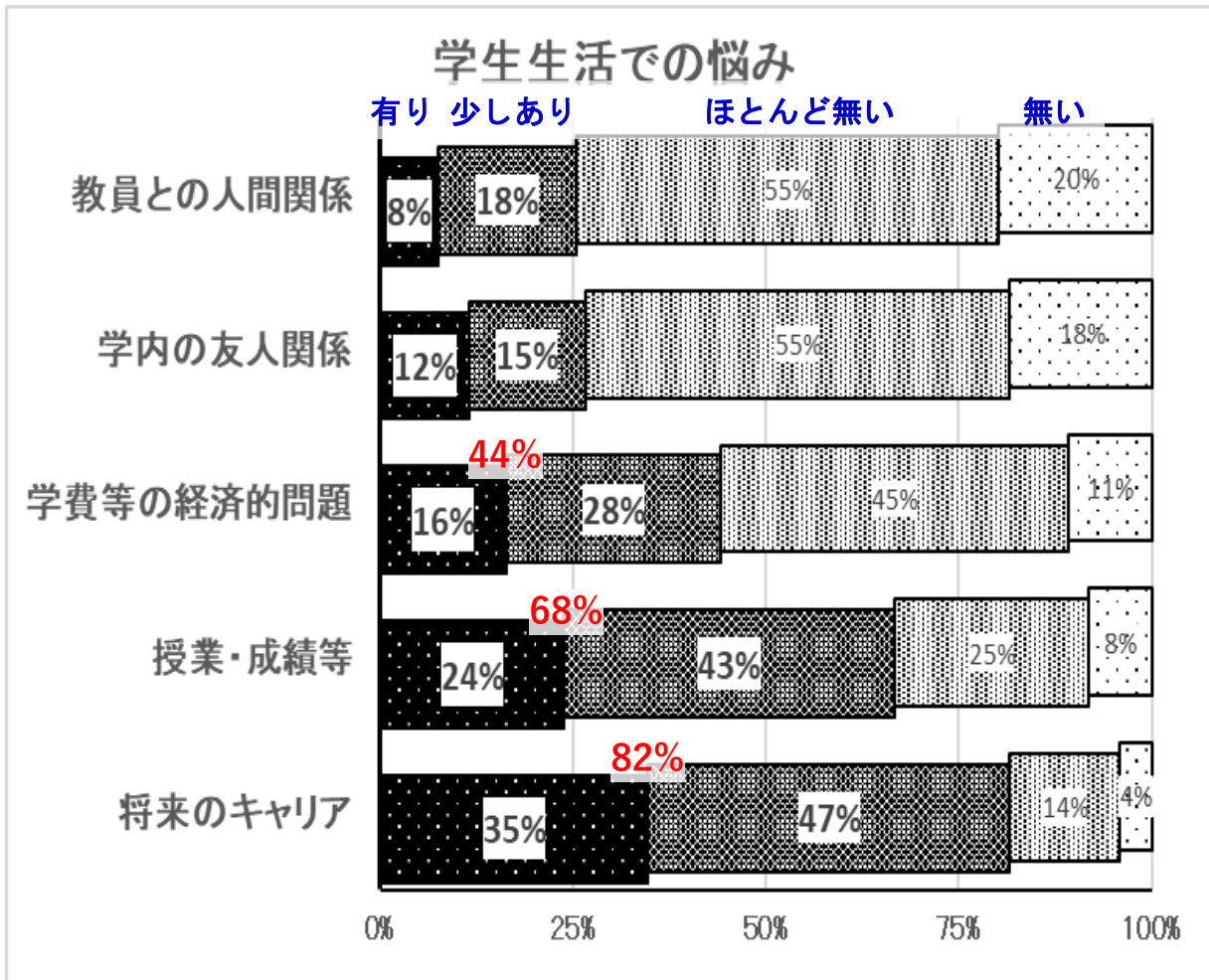
対面型授業に比べて**双方向型授業**は？

良い どちらでもない 悪い



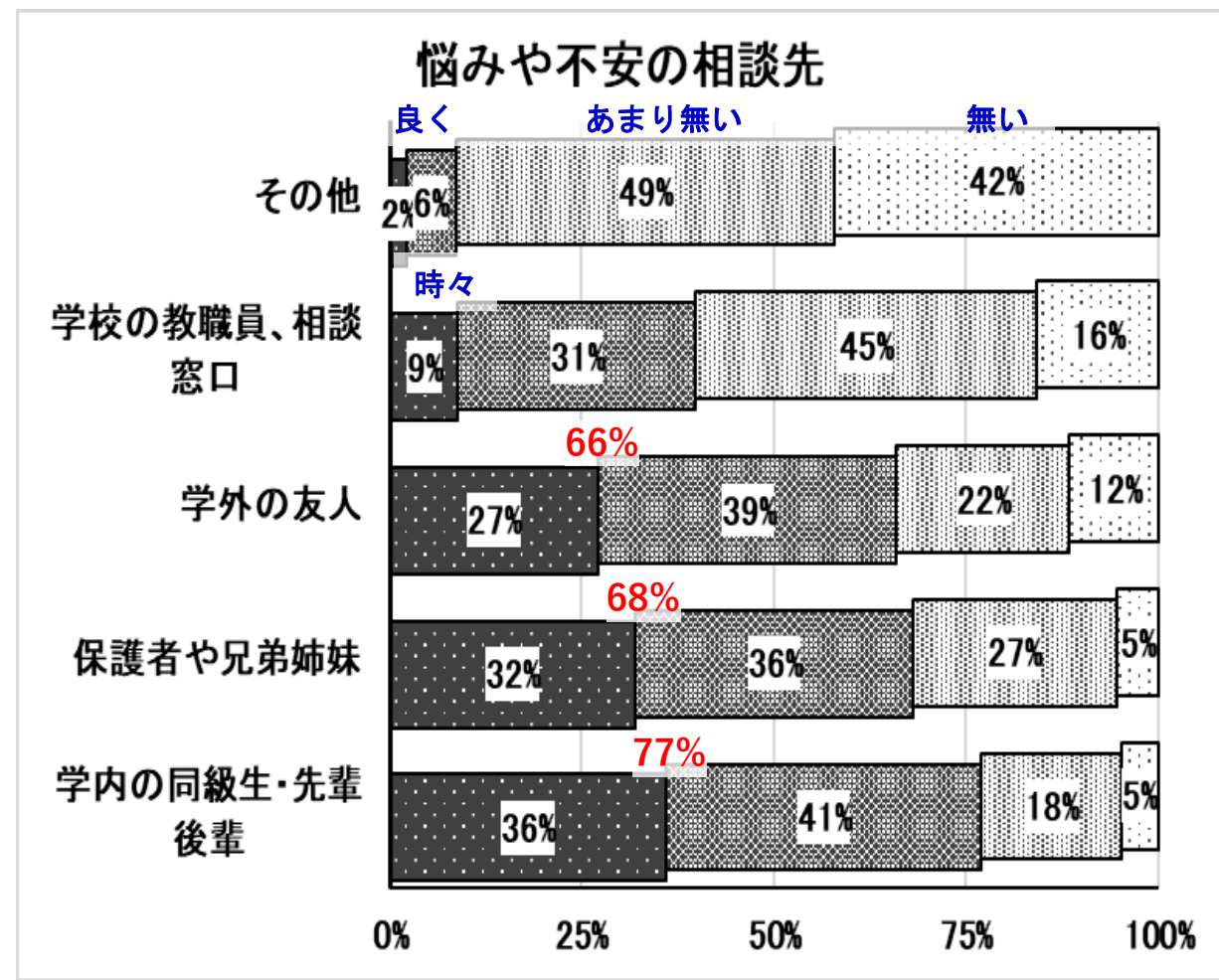
- ▶ オンデマンド型授業と双方向型授業は同様の傾向を示した。全体に「良い」はオンデマンド型授業が上回っていた。
- ▶ 「良い」においてオンデマンド型授業は自分のペース、自由な場所等で上回っていたが、双方向型授業は授業の理解、受講しやすいが上回っていた。

学生生活に悩みがあるか %



- 学生生活での悩み（有／少し有）は**将来のキャリア82%**、**授業・成績等68%**、**学費等44%**の順であった。

悩みや不安の相談先はどちらか %

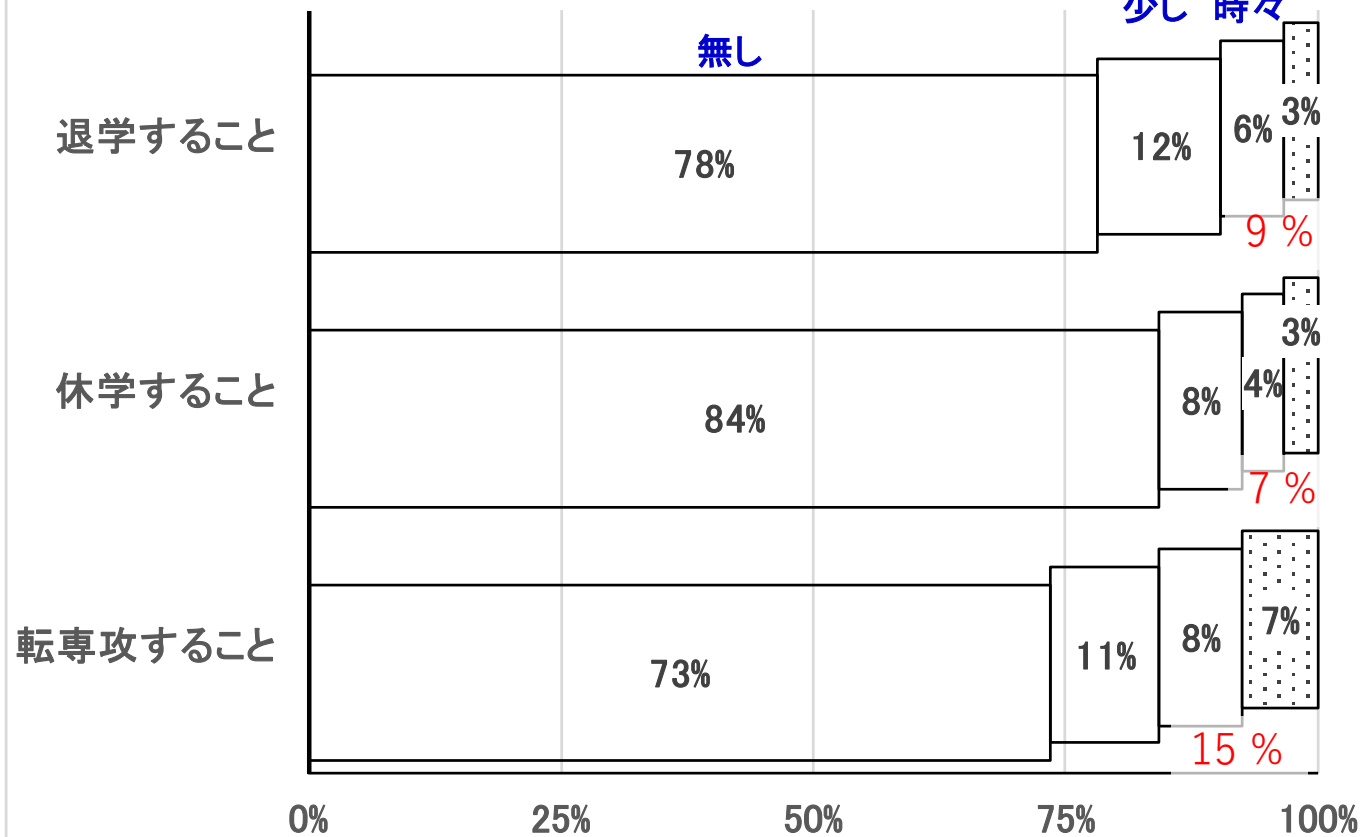


- 悩みの相談先（良く／時々）は**学内の友人77%**、**保護者など68%**、**学外の友人66%**の順であった。

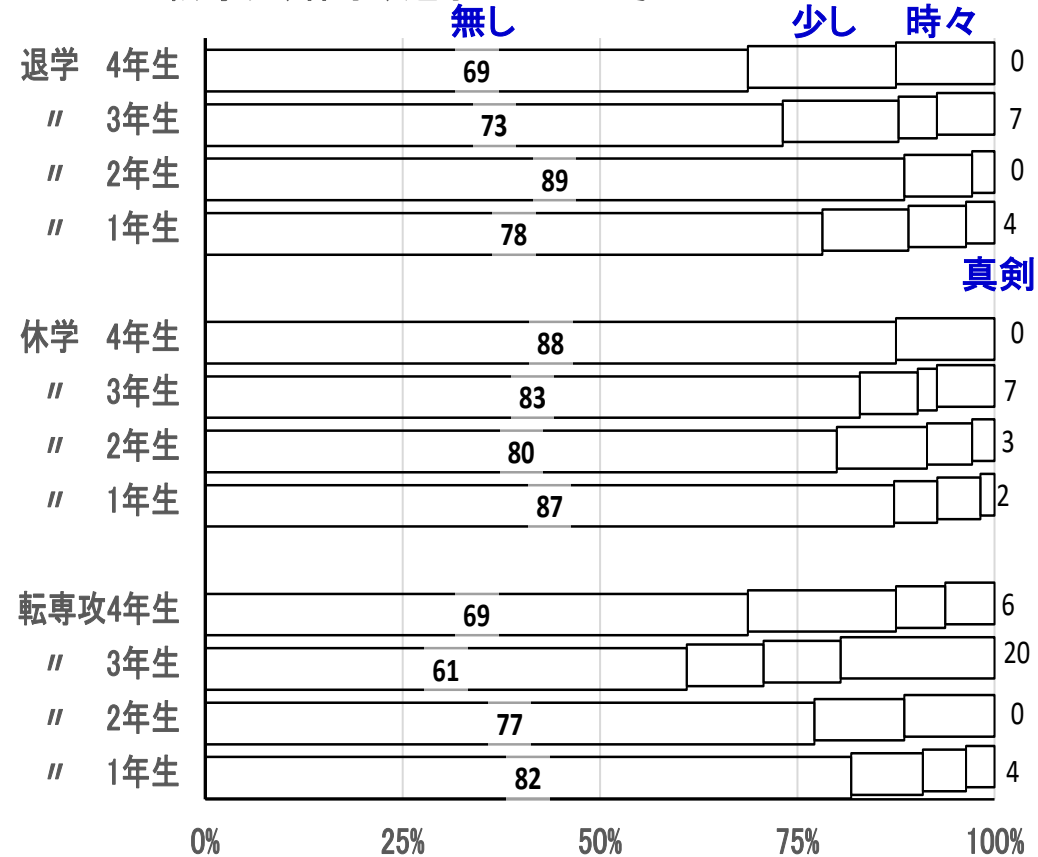
転専攻、休学、退学について考えたことは %

転専攻、休学、退学について考えたこと-学年別- %

転専攻、休学、退学について考えたことは



転専攻、休学、退学について考えたことは

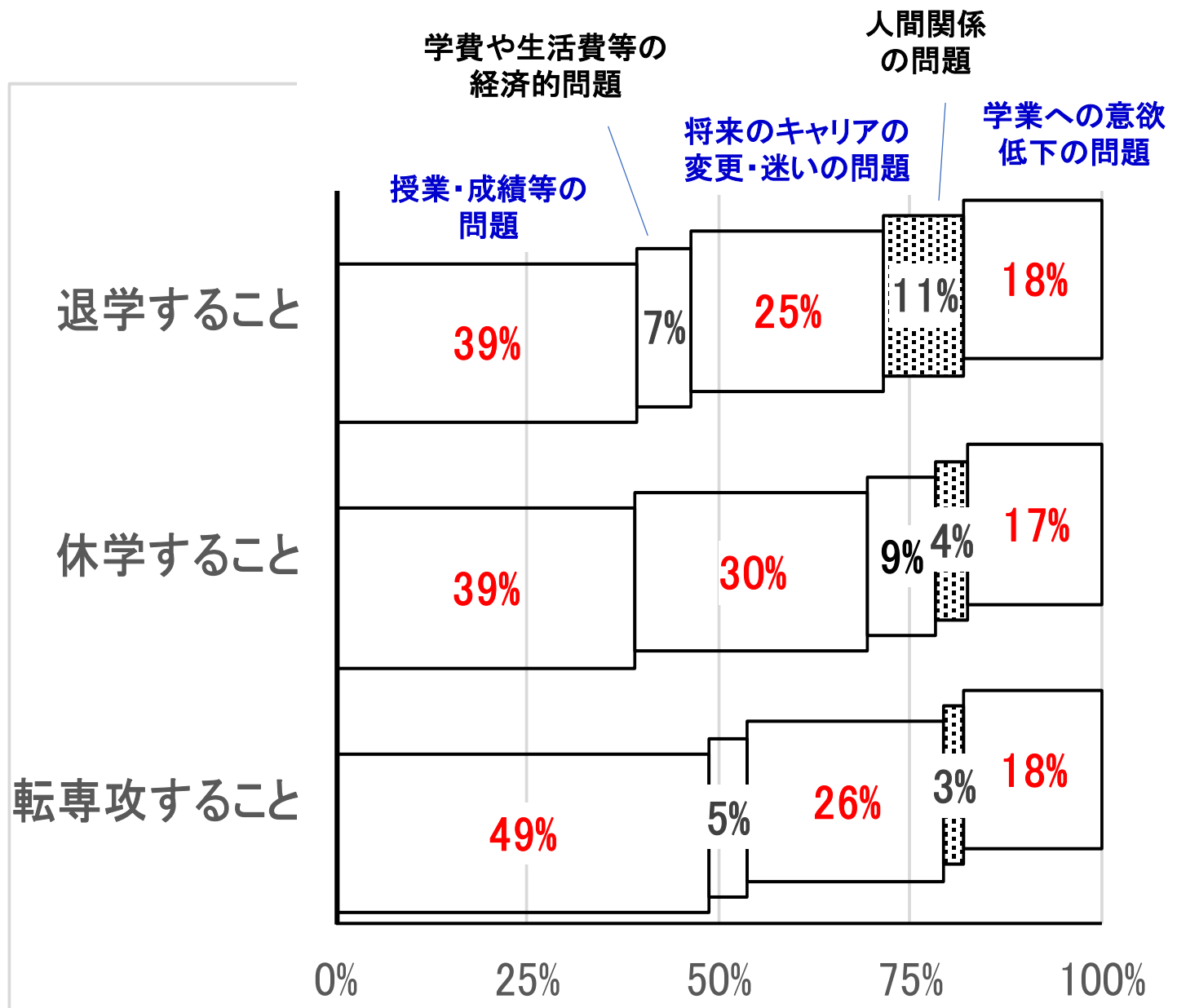


➤ 学籍異動について「時々／真剣に」考えたは、転専攻 15%、休学7%、退学 9%であった。

※ 質問の期間を2022年度に限定していないので、在学中の経験と理解して回答した可能性もある。

➤ 転専攻、休学、退学で、学年による差異はあるが、一定の傾向は見いだせない。

学籍異動の最大の理由は何か %



- 「退学」「休学」「転専攻」とも成績等の問題が最も大きな理由である。
- 「休学」においては、経済的問題30%が大きく、2021年度の4%より大きく増加した。